

— 令和3年度高知県学力定着状況調査結果の概要 —

令和4年3月  
高知県教育委員会

## — 目 次 —

1	調査の概要	2
2	本県の学力の状況	3
3	教育事務所別調査結果	4
4	教科別調査結果	
	教科別調査結果について	5
	(1) 小学校国語	6
	(2) 小学校算数	10
	(3) 小学校理科	14
	(4) 中学校国語	17
	(5) 中学校社会	21
	(6) 中学校数学	25
	(7) 中学校理科	29
	(8) 中学校外国語（英語）	33
5	質問紙調査結果	37

## 令和3年度高知県学力定着状況調査の概要

### I. 調査の目的

学力調査等の結果から明らかとなった学力についての課題の改善状況及び定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善に生かすとともに、各学校及び教育委員会における継続的な学力向上のための検証改善サイクルを確立する。

### II. 調査への参加状況

#### ◇ 参加学校数

小学校 第4学年	179校	第5学年	183校
中学校 第1学年	98校	第2学年	99校
義務教育学校（前期課程・後期課程） 2校			

#### ◇ 小学校解答（回答）児童数

##### 第4学年

国語	4,776人	算数	4,781人	質問紙調査	4,786人
----	--------	----	--------	-------	--------

##### 第5学年

国語	4,934人	算数	4,929人	理科	4,934人
質問紙調査	4,942人				

#### ◇ 中学校解答（回答）生徒数

##### 第1学年

国語	4,098人	社会	4,104人	数学	4,109人
理科	4,104人	外国語（英語）	4,107人		
質問紙調査	4,109人				

##### 第2学年

国語	3,888人	社会	3,899人	数学	3,902人
理科	3,898人	外国語（英語）	3,891人		
質問紙調査	3,896人				

### III. 調査事項

#### (1) 教科に関する調査

##### ア 出題教科

小学校第4学年…国語、算数

小学校第5学年…国語、算数、理科

中学校第1・2学年…国語、社会、数学、理科、外国語（英語）

※国語と外国語（英語）は、音声を聞いて答える問題も出題

##### イ 出題内容

主として「知識」に関する問題及び「活用」に関する問題

選択式・短答式・記述式の問題形式

#### (2) 学習状況や生活の諸側面等に関する質問紙調査

### IV. 調査実施期間

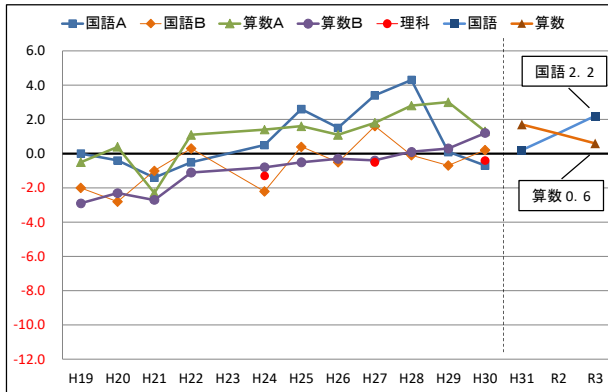
令和3年12月7日（火）～12月9日（木）



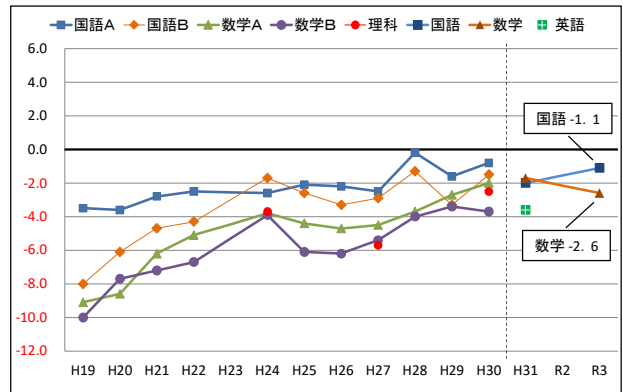
## 学力調査結果にみられる本県の学力の状況

### I 全国学力・学習状況調査結果（平均正答率の経年変化）

#### 小学校



#### 中学校



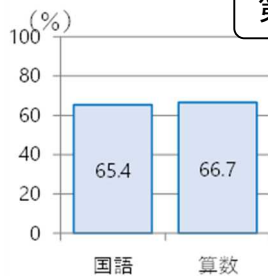
#### 現状

- 小学校については、国語・算数ともに全国平均を超えており、引き続き全国上位の学力を身に付けている。
- 中学校については、国語・数学ともに全国平均には達していないものの、全国平均に近づきつつある。特に国語については大きく向上している。

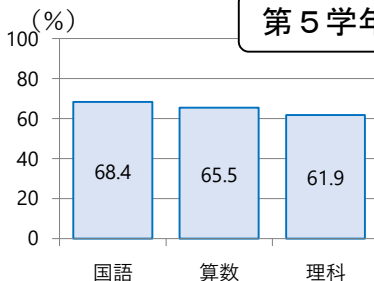
### II 高知県学力定着状況調査結果（令和3年度の平均正答率）

#### 小学校調査

##### 第4学年

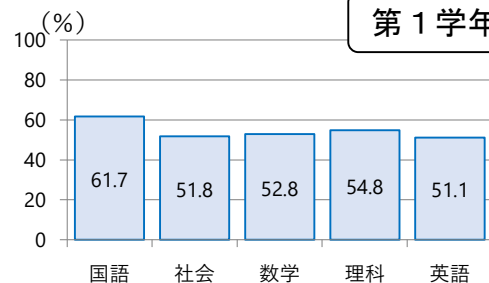


##### 第5学年

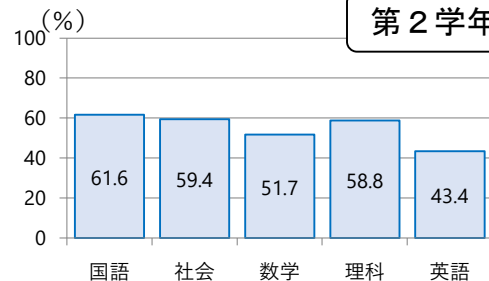


#### 中学校調査

##### 第1学年



##### 第2学年



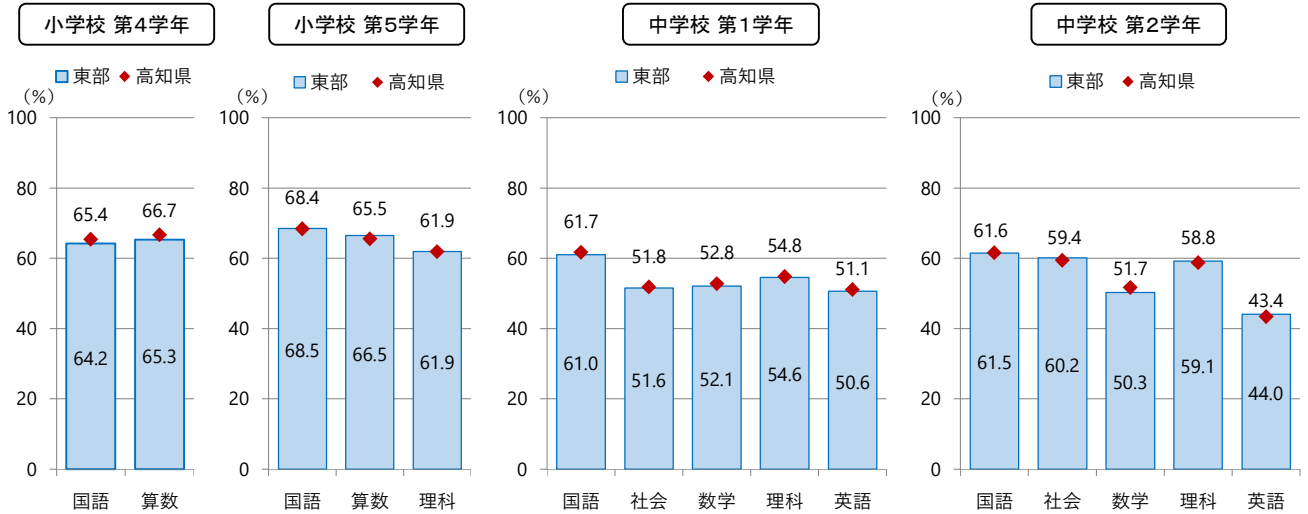
#### 現状

- 小学校は、第4・5学年ともに概ね期待される正答率であると考えられる。中学校は教科ごとに差はみられるものの、全体的に正答率が低い状況にあると捉えている。
- 小中学校ともに国語の正答率が6割を超えている。このことから一定の授業改善が進み、国語科で身に付ける力が定着してきているものと考えられる。

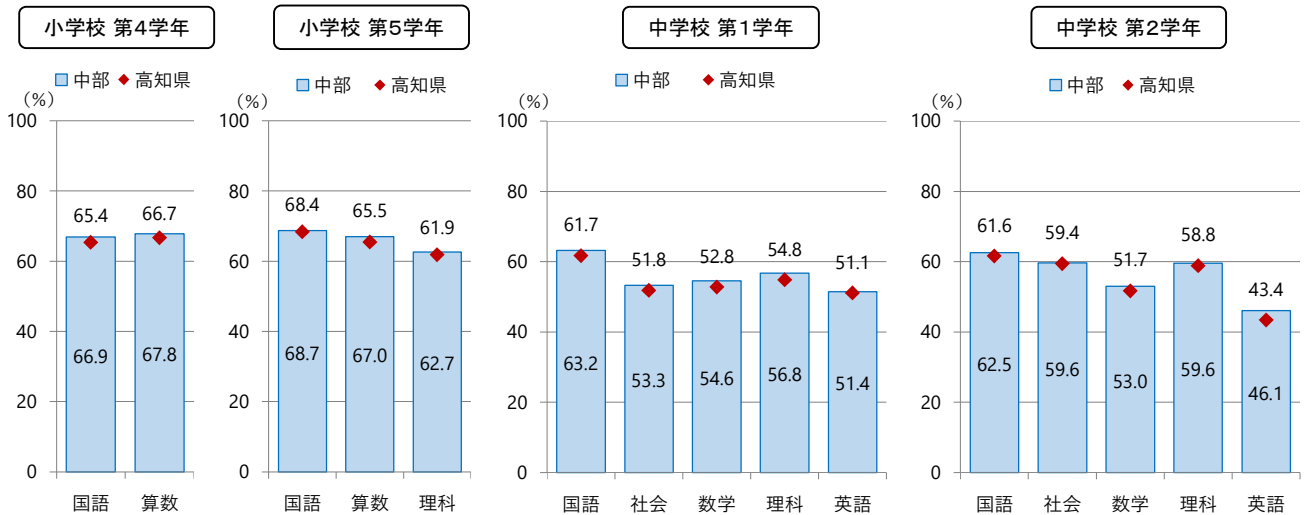
### 3 教育事務所別調査結果

※教育事務所の結果には、中核市である高知市の結果は含まれていません。

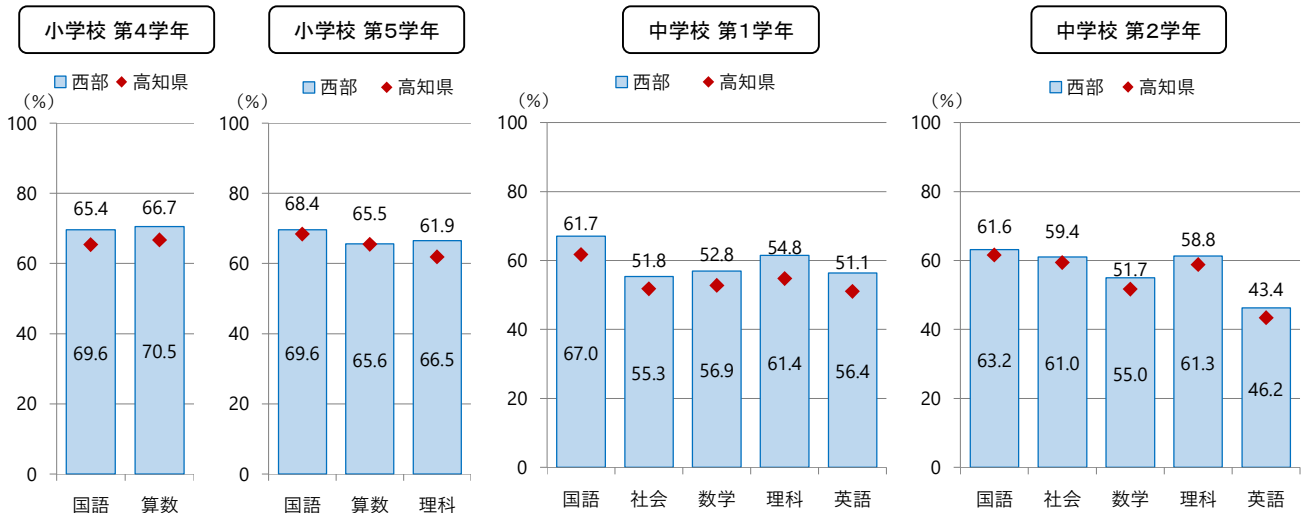
#### 東部教育事務所



#### 中部教育事務所



#### 西部教育事務所

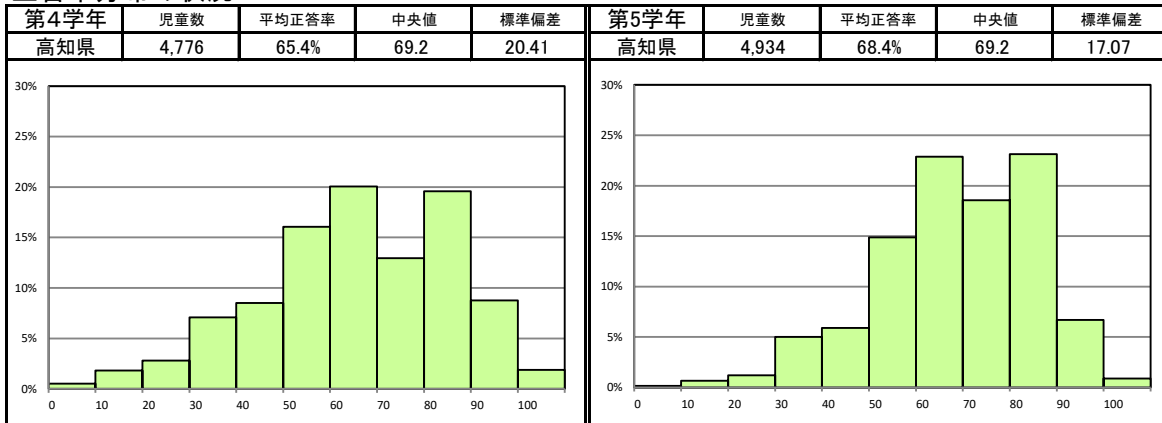




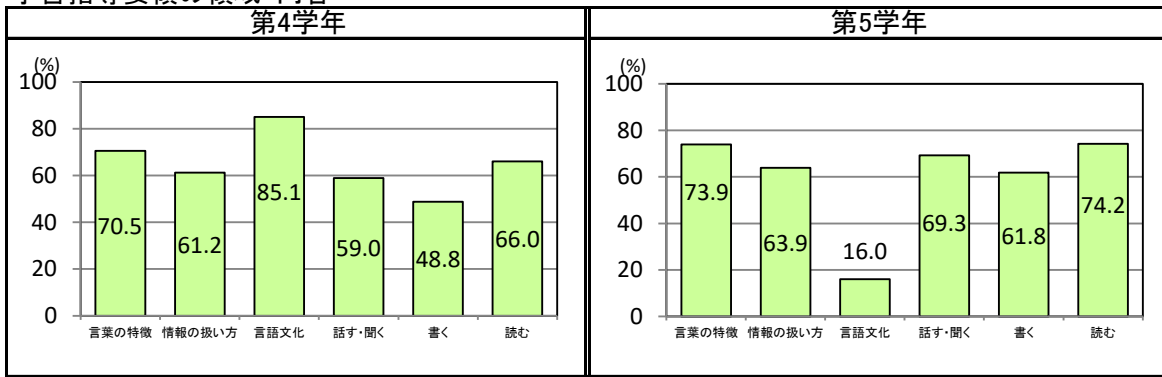
# (1) 小学校国語

## 【分類・区別の状況】

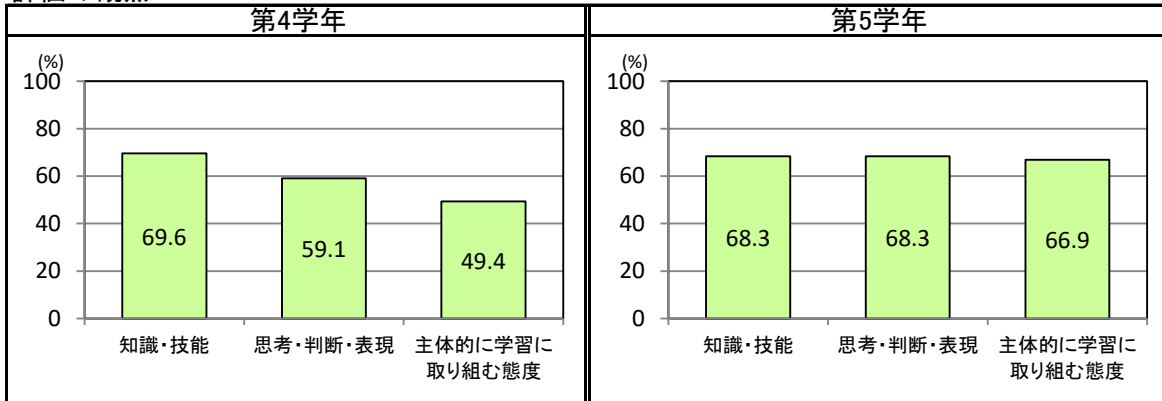
### 正答率分布の状況



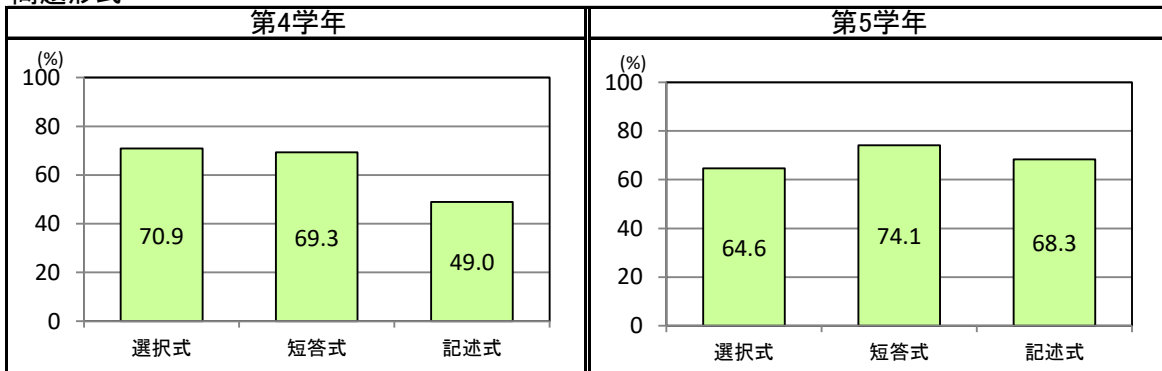
### 学習指導要領の領域・内容



### 評価の観点



### 問題形式





成果・改善が見られる問題

第4学年

正答率 89.4%

■問題番号 4 (1)

■問題の内容

物語の内容を読み取る。

■出題のねらい

登場人物の様子について、叙述を基に捉えている。

第5学年

正答率 72.3%

■問題番号 4 (2)

■問題の内容

物語の内容を読み取る。

■出題のねらい

登場人物の心情について、描写を基に捉えている。

ポイント

複数の叙述や描写に着目し、理由を明確にしながら読み深める

○分析・考察

物語を読み、叙述や描写などの言葉を手がかりにして登場人物の気持ち等を読み取ることに改善が見られる。このことから、物語の全体を見通して、複数の叙述を基に行動や気持ちなどを捉えさせる授業づくりが進んできたことがうかがえる。

○学習指導に当たって

叙述や描写を基に登場人物の気持ち等を捉えるには、行動や会話、情景等に着目し、理由を明確にしながら読み深められるようにすることが大切である。

例えば、「読んで考えたことを伝え合う」など、物語の内容を説明したり考えたりする言語活動が効果的である。その際、根拠と理由を結び付けながら説明したり、人物の相互の関係を図で書き表したりしながら、叙述と描写、登場人物の気持ち等を捉えさせるとともに、登場人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などによる暗示的な表現の仕方にも注意させ、想像を豊かにしながら読むように指導することが大切である。また、読書活動と関連付け、登場人物の気持ちを踏まえて物語の感想を書くなどの活動も効果的である。



課題が見られる問題

第4学年

正答率 37.7%

■問題番号 6 (2)

■問題の内容

メモを取りながら話し合う。

■出題のねらい

互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。

第5学年

正答率 44.6%

■問題番号 1 (1)

■問題の内容

話し合いの内容を聞き取る。

■出題のねらい

話の内容を明確にするための話し手の工夫を捉えている。

○分析・考察

互いの意見に着目して、考えをまとめることに課題が見られる。このことから、話の流れを踏まえて話す指導が十分でないことがうかがえる。

○分析・考察

話の内容を明確にするための話し手の工夫を捉えることに課題が見られる。このことから、自分の立場や相手を意識して話す指導が十分でないことがうかがえる。

ポイント

目的に応じて適切に話す力を高める

○学習指導に当たって

目的に応じて、分かりやすく話したり考えをまとめたりするには、話の内容（共通点や相違点等）に着目して、それに沿った適切な話し方やまとめ方を身に付けることが必要である。

例えば、「それぞれの立場から考えを伝える」などの話し合いの言語活動を設定して、それぞれの発言がどの立場や考えに基づいた発言なのかを確認したり、よりよい発言の仕方やまとめ方を検討したりすることが考えられる。その際、メモの取り方を示し、話題の中心となる大事な事柄をおさえることや、発言や考えを板書するなど、話の内容や流れを視覚的に捉えさせることが大切である。また、ICT端末を活用して話し合いの場面を録画し、話し方を検証したり、録画した最初と最後の動画を見比べることで、学びの振り返りに生かしたりすることも効果的である。さらに、他教科や特別活動での話し合い活動と関連させた指導も効果的である。



令和3年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率〔小学校国語4年〕

通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連						評価の観点			問題形式			高知県	
					言葉の特徴	情報の扱い方	言語文化	話す・聞く	書く	読む	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	1	(1)	話し合いの内ようを聞き取る	話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉えている。				○				○		○			81.2	0.5
2		(2)	話し合いの内ようを聞き取る	話し手が伝えたいことの中心を捉えている。				○				○		○			58.9	0.5
3		(3)	話し合いの内ようを聞き取る	司会の役割を果たしながら話し合い、意見の相違点に着目している。				○				○	○			○	60.8	6.3
4	2	(1) ①	漢字を読む	第4学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	○							○			○		51.6	11.4
5		(1) ②	漢字を読む	第4学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	○							○			○		91.4	1.2
6		(1) ③	漢字を読む	第4学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	○							○			○		97.7	0.8
7		(2) ①	漢字を書く	第3学年に配当されている漢字を正しく書いている。	○							○			○		55.5	4.9
8		(2) ②	漢字を書く	第3学年に配当されている漢字を正しく書いている。	○							○			○		52.7	9.6
9		(2) ③	漢字を書く	第3学年に配当されている漢字を正しく書いている。	○							○			○		80.4	8.1
10	3	(1)	言葉の学習	主語と述語について理解している。	○							○			○		69.1	0.6
11		(2)	言葉の学習	連体修飾語について理解している。	○							○			○		81.0	0.8
12		(3)	言葉の学習	ことわざの意味を知り、正しく使っている。			○					○			○		85.1	0.9
13		(4)	言葉の学習	漢字辞典の使い方を理解している。			○					○			○		71.4	1.3
14		(5)	言葉の学習	気持ちを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	○							○			○		78.8	1.1
15	4	(1)	物語の内ようを読み取る	登場人物の様子について、叙述を基に捉えている。							○	○		○			89.4	0.7
16		(2)	物語の内ようを読み取る	登場人物の気持ちの変化について、具体的に想像している。								○	○		○		47.7	0.8
17		(3)	物語の内ようを読み取る	文章を読んで感じたことや考えたことを共有している。								○	○		○		78.0	0.9
18	5	(1)	説明文の内ようを読み取る	叙述を基に段落の内容を捉えている。							○	○		○			55.9	1.7
19		(2)	説明文の内ようを読み取る	叙述を基に文章の内容を捉えている。								○	○		○		69.1	1.8
20		(3)	説明文の内ようを読み取る	情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約している。			○					○	○		○		55.9	9.0
21	6	(1)	メモを取りながら話し合う	必要な語句などの書き留め方を理解し、必要なことを記録しながら聞いている。			○				○	○		○			56.2	4.0
22		(2)	メモを取りながら話し合う	互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。								○		○	○		37.7	17.1
23	7		文章を書く	指定された長さで文章を書いている。							○			○	○		53.3	20.6
24			文章を書く	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	○						○			○	○		47.1	20.6
25			文章を書く	内容の中心を明確にし、事実を伝える文章を書いている。								○		○	○		53.0	20.6
26			文章を書く	内容の中心を明確にし、事実と自分の考えを書いている。								○		○	○		41.9	20.6

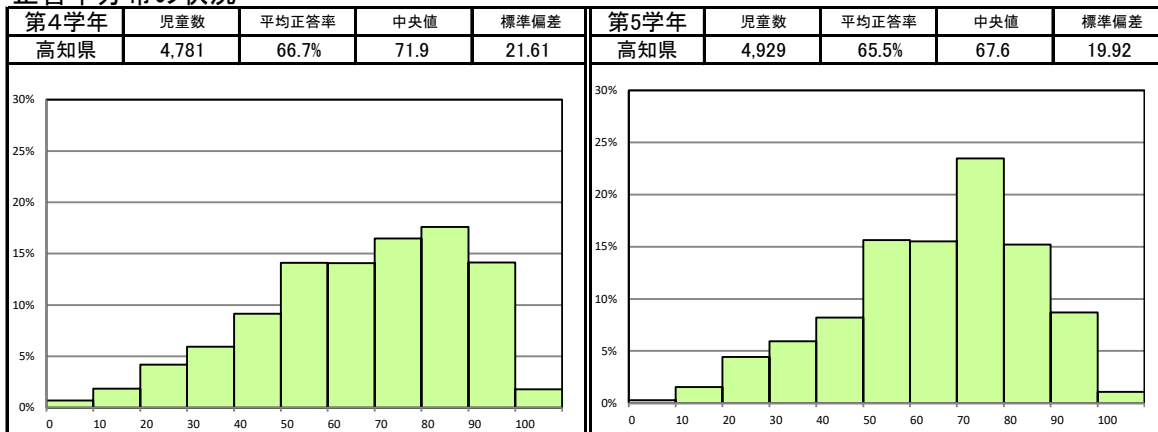
令和3年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率〔小学校国語5年〕

通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連						評価の観点			問題形式			高知県	
					言葉の特徴	情報の扱い方	言語文化	話す・聞く	書く	読む	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	1	(1)	話し合いの内容を聞き取る	話の内容を明確にするための話し手の工夫を捉えている。				○			○		○			44.6	0.6	
2		(2)	話し合いの内容を聞き取る	話し手の目的に応じて、話の内容を捉えている。				○			○					83.8	0.2	
3		(3)	話し合いの内容を聞き取る	互いの立場を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げている。				○			○	○			○	79.5	4.2	
4	2	(1) ①	漢字を読む	第5学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	○						○			○		97.6	0.4	
5		(1) ②	漢字を読む	第5学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	○						○			○		76.9	4.3	
6		(1) ③	漢字を読む	第5学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	○						○			○		99.3	0.2	
7		(2) ①	漢字を書く	第4学年に配当されている漢字を正しく書いている。	○						○			○		58.9	7.8	
8		(2) ②	漢字を書く	第4学年に配当されている漢字を正しく書いている。	○						○			○		64.1	4.2	
9		(2) ③	漢字を書く	第4学年に配当されている漢字を正しく書いている。	○						○			○		82.8	1.8	
10	3	(1)	言葉の学習	漢字の由来について理解している。			○				○		○			16.0	0.8	
11		(2)	言葉の学習	連用修飾語について理解している。	○						○		○			27.9	0.6	
12		(3)	言葉の学習	敬語について理解し、正しく使っている。	○						○		○			93.9	0.3	
13		(4)	言葉の学習	思考に関わる語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	○						○		○			96.8	0.3	
14		(5)	言葉の学習	文章の中で、文脈に沿った漢字を適切に使っている。	○						○			○		39.7	13.3	
15	4	(1)	物語の内容を読み取る	登場人物の様子について、描写を基に捉えている。						○			○			84.2	0.3	
16		(2)	物語の内容を読み取る	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。							○			○		72.3	0.3	
17		(3)	物語の内容を読み取る	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。							○			○		66.2	0.6	
18	5	(1)	説明文の内容を読み取る	文章全体の構成を捉えている。							○		○			61.3	0.5	
19		(2)	説明文の内容を読み取る	叙述を基に文章の内容を捉えている。							○		○			87.4	0.5	
20		(3)	説明文の内容を読み取る	情報と情報との関係について理解し、文章の情報を整理している。	○						○	○		○		73.8	6.4	
21	6	(1)	かべ新聞を書く	表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。									○			40.8	3.0	
22		(2)	かべ新聞を書く	情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章を簡単に書いている。	○						○	○		○		54.0	8.4	
23	7		文章を書く	指定された長さで文章を書いている。									○			71.4	11.7	
24			文章を書く	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	○						○	○		○		74.9	11.7	
25			文章を書く	自分の意見を明確にして書いている。							○	○		○		86.1	11.7	
26			文章を書く	自分の意見を支える理由を明確にして書いている。							○	○		○		43.7	11.7	

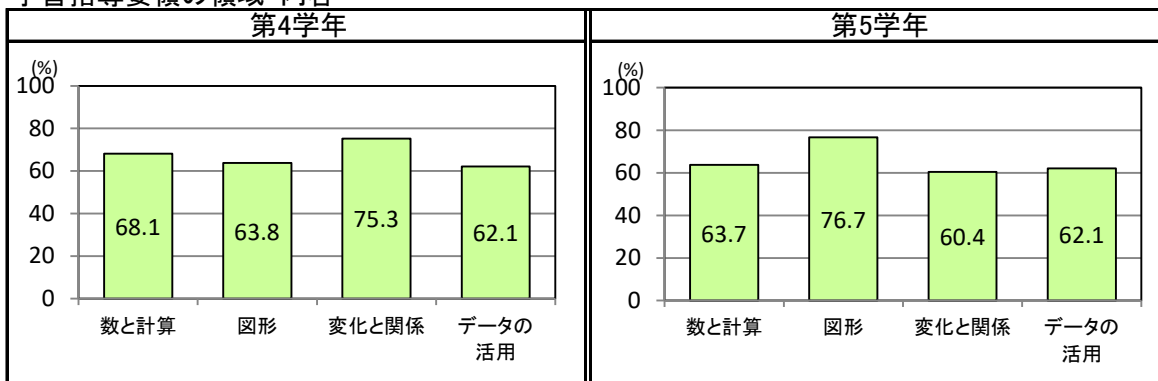
## (2) 小学校算数

【分類・区別の状況】

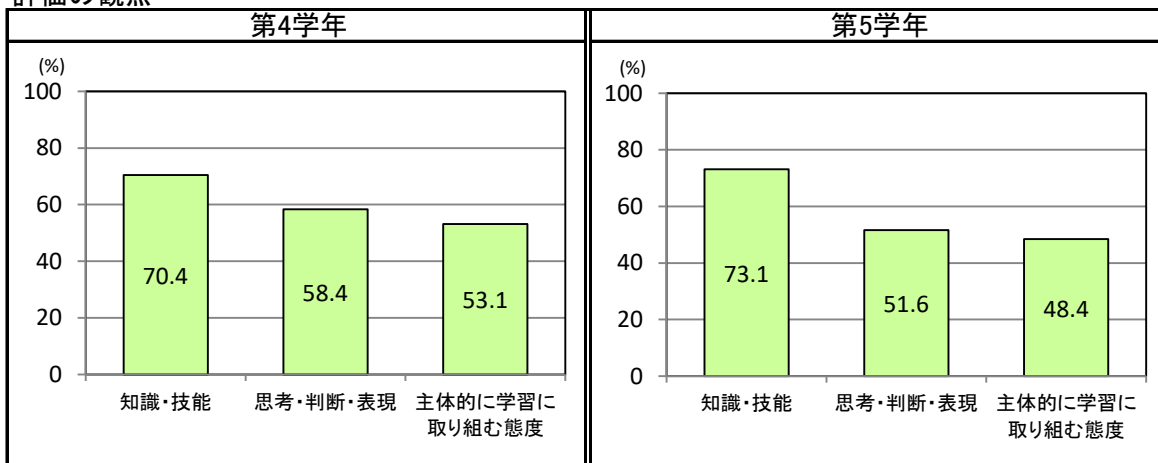
### 正答率分布の状況



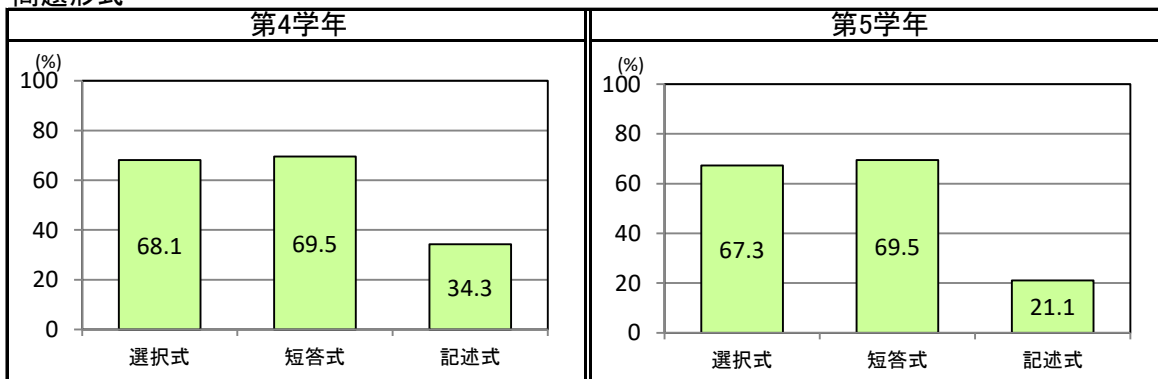
### 学習指導要領の領域・内容



### 評価の観点



### 問題形式





成果・改善が見られる問題

第4学年 ■問題番号 <b>7</b> (1) ■問題の内容 簡単な場合についての割合 ■出題のねらい 基準量を求める除法の文章問題を表した図を選ぶことができる。	正答率 83.7%	第5学年 ■問題番号 <b>7</b> (2) ■問題の内容 小数のかけ算・わり算 ■出題のねらい 図を見て、小数倍の文章問題（何倍かを求める）を解くために除法の立式をしている。	正答率 73.0%
--	-----------	--	-----------



**数直線を用いて数量の関係を捉えるとともに量感を養う**

○分析・考察

テープ図を基に、「比較量」、「基準量」、「倍」の関係を正しく判断することができており、図を関連付けて、二つの数量の関係を理解することに改善がみられる。

算数の時間に、図や数直線などに表すことで数量の関係を捉える活動が、日常的に行われていることがうかがえる。

○学習指導に当たって

数直線を基に立式する活動を通して、「基にする大きさを求めるときはわり算になる」ことを、図と式を関連付けて理解させるとともに、数直線上に示されている数の大きさの理解を深めさせることが大切である。

例えば、0.4mの重さが60gの針金の1mの重さを求める場面では、まず、「1mは0.4mより長いので、1mの重さは60gより重い」ということを数直線で確認し、商は被除数より大きくなることを捉えるなど、量感を養う指導が考えられる。



課題が見られる問題

第4学年 ■問題番号 <b>17</b> (3) ■問題の内容 垂直・平行と四角形 ■出題のねらい ひし形の特徴を理解し、問題の答えがひし形になるようにヒントを出している。	正答率 26.5%	第5学年 ■問題番号 <b>20</b> (3) ■問題の内容 小数のかけ算・わり算 ■出題のねらい 小数の除法を用いて、どちらのふくろに入っている硬貨の金額が大きいのかを説明している。	正答率 11.2%
---	-----------	--	-----------



**解決過程を振り返り得られた結果を考察すること**

○分析・考察

平行や垂直、対角線に着目して、四角形の性質を捉え直したり、複数の情報から必要な情報を取り出し、筋道立てて説明することに課題が見られる。

特徴を調べる活動や正解のみを評価することが重視され、他者の考えと自分の考えや今までに学習した考え方と比べるなど、解決過程を振り返って考え直す活動が不十分なことがうかがえる。

○学習指導に当たって

図形の性質を見いだしたあと、既習の図形の性質と比較したり、友達の式の意味などを説明したりすることを通して、計算の意味を理解していくことが大切である。問題解決の過程を振り返り、得られた結果を考察する活動は、低学年の時から積み重ねていくことが大切であり、筋道を立てて考える力の育成につながっていく。

例えば、図形の指導では、平行四辺形、台形、ひし形の性質を平行や対角線に着目して、正方形や長方形に捉え直すことで、四角形の性質の理解を深めていくことが考えられる。

また、小数の除法の指導では、整数の除法を振り返ったり、式の意味を図を用いて説明したりする活動をとおして、除法の意味理解を進めていくことが考えられる。

令和3年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率〔小学校算数4年〕

通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点			問題形式			高知県	
					数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1		(1)	億と兆・がい数の表し方	命数法で書かれた数の記数法での表し方を理解している。	○				○			○			68.6	0.1
2	1	(2)	億と兆・がい数の表し方	10分の1にした数を求めることができる。	○				○			○			82.7	0.2
3		(3)	億と兆・がい数の表し方	数直線上に示された大きい数の読み取り方を理解している。	○				○			○			85.9	0.1
4	2	(1)	小数	小数のしくみを理解している。	○				○			○			56.9	0.2
5		(2)	小数	小数を用いて重さの単位換算ができる。	○				○				○		31.8	2.0
6	3	(1)	億と兆・がい数の表し方	上から2けたの概数の表し方を理解している。	○				○				○		71.0	1.8
7		(2)	億と兆・がい数の表し方	概数に対応する数の範囲を理解している。	○				○			○			62.5	1.3
8	4	(1)	計算のきまり	計算のきまりを使って、( )のある式の計算ができる。	○				○				○		87.2	1.4
9		(2)	わり算	3けた÷1けた=2けた(余りあり)の計算ができる。	○				○				○		77.1	3.8
10		(3)	わり算	3けた÷2けた=1けた(余りあり)の計算ができる。	○				○				○		63.3	6.3
11		(4)	小数	小数第一位+小数第二位の計算ができる。	○				○				○		82.9	2.9
12		(5)	小数	小数第三位-小数第三位(差が純小数)の計算ができる。	○				○				○		62.8	3.2
13	5		わり算	除法の筆算に出てくる数の意味を理解している。	○				○			○			52.0	1.6
14	6	式	わり算	文章問題を解くための除法の立式ができる。	○				○				○		83.2	2.6
15		答え	わり算	文章問題を解くために立式した3けた÷1けた=2けた(余りあり)の式から、余りの処理をして正しい答えを求めることができる。	○				○				○		63.0	4.6
16	7	(1)	簡単な場合についての割合	基準量を求める除法の文章問題を表した図を選ぶことができる。	○		○		○			○			83.7	1.4
17		(2)	簡単な場合についての割合	図を使って、基準量を求める除法の文章問題に合った立式ができる。	○		○		○				○		78.0	5.0
18	8		簡単な場合についての割合	2つの数量の関係を、基の大きさの何倍になったかを考えて比べている。	○		○		○			○			64.4	1.2
19	9		計算のきまり	計算のきまりを理解し、式に合った文章問題を選んでいる。	○				○			○			66.4	1.4
20	10		計算のきまり	四則混合で( )を用いた式の計算順序を理解している。	○				○			○			69.9	1.4
21	11		計算のきまり	分配法則を用いて計算している。	○				○			○			63.3	2.0
22	12	(1)	角の大きさ	分度器の中に示された角の大きさの読み取り方を理解している。		○			○				○		78.0	1.7
23		(2)	角の大きさ	角の性質がわかり、2直線が交わってできる角の大きさを計算で求めている。		○			○				○		76.9	3.1
24	13		角の大きさ	180°より大きい角を求めている。		○			○			○			61.9	2.1
25	14		垂直・平行と四角形	方眼を使った平行な直線の見つけ方を理解している。		○			○			○			70.2	2.3
26	15		垂直・平行と四角形	ひし形の作図ができる。		○			○			○			78.2	4.6
27	16	(1)	折れ線グラフ	折れ線グラフの縦軸の1目もりの大きさを理解している。				○	○				○		60.3	5.1
28		(2)	折れ線グラフ	折れ線グラフを正しく読み取っている。				○	○				○		63.9	4.3
29	17	(1)	垂直・平行と四角形	四角形の辺の特徴から、ヒントにあてはまらない四角形を選んでいる。		○			○	○		○			69.4	5.5
30		(2)	垂直・平行と四角形	四角形の対角線と辺の長さの特徴から、どの四角形なのかを特定している。		○			○	○		○			49.2	11.7
31		(3)	垂直・平行と四角形	ひし形の特徴を理解し、問題の答えがひし形になるようにヒントを出している。		○			○	○		○			26.5	18.6
32	18		わり算	除法の性質を理解し、工夫した計算のしかたを説明している。	○				○	○			○		42.1	17.5

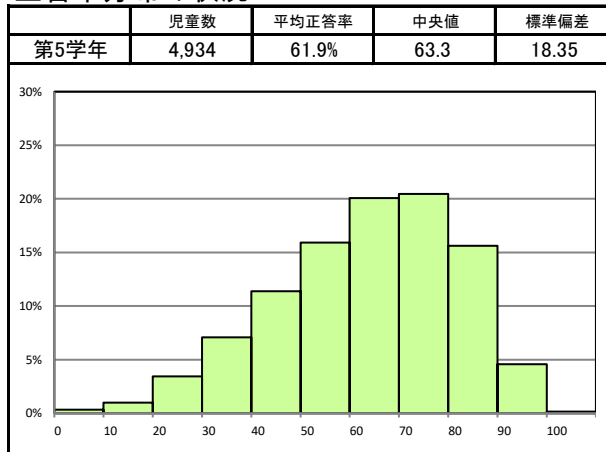
令和3年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [小学校算数5年]

通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点			問題形式			高知県	
					数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	1	(1)	整数のなかま分け	偶数について理解している。	○				○			○			88.6	0.1
2		(2)	整数のなかま分け	最大公約数について理解し、それを求めることができる。	○				○			○			82.9	0.9
3	2		整数のなかま分け	最小公倍数を適用して問題を解決している。	○					○		○			80.0	1.1
4	3	(1)	分数と小数	小数を分数の形に直すことができる。	○				○			○			90.2	0.1
5		(2)	分数と小数	分数と小数の大小比較をしている。	○					○		○			45.6	0.8
6	4	(1)	小数のかけ算・わり算	小数第一位×小数第一位(純小数同士の乗法)の計算ができる。	○				○				○		69.1	0.5
7		(2)	小数のかけ算・わり算	小数第一位×小数第二位(乗数に空位あり)の計算ができる。	○				○				○		58.3	2.0
8		(3)	小数のかけ算・わり算	小数第二位÷小数第一位=小数第一位の計算ができる。	○				○				○		75.1	2.9
9		(4)	分数のたし算・ひき算	真分数+真分数=真分数で、分母どうしをかける通分をする計算ができる。	○				○				○		87.2	1.8
10		(5)	分数のたし算・ひき算	帯分数-真分数=真分数で、片方の分母にそろえる通分をする計算(約分あり)ができる。	○				○				○		73.9	3.8
11	5		小数のかけ算・わり算	小数の乗法と除法において、乗数による被乗数と積、除数による被除数と商の大小関係を理解している。	○				○			○		45.2	3.0	
12	6		小数のかけ算・わり算	小数の乗法でも分配法則が成り立つことを理解している。	○				○			○		63.2	3.6	
13	7	(1)	小数のかけ算・わり算	図を見て、小数倍の文章問題(純小数倍、比較量を求める)を解くために乗法の立式をしている。	○					○		○			60.8	0.5
14		(2)	小数のかけ算・わり算	図を見て、小数倍の文章問題(何倍かを求める)を解くために除法の立式をしている。	○					○		○			73.0	0.6
15	8	式	小数のかけ算・わり算	文章問題を解くために小数の除法の立式をしている。	○					○			○		75.9	3.7
16		答え	小数のかけ算・わり算	文章問題を解くために立式した小数第一位÷小数第一位=小数第一位の式から、正しい答えを求めることができる。	○				○				○		68.1	5.1
17	9		小数のかけ算・わり算	小数第一位×小数第一位の乗法の式に合った文章問題を選んでいく。	○					○		○		49.1	1.0	
18	10	(1)	小数のかけ算・わり算	小数の除法(小数÷純小数)の文章問題を図に表している。	○					○		○			63.9	1.3
19		(2)	小数のかけ算・わり算	図を使って、小数の除法の文章問題に合った式を選んでいく。	○					○		○			50.8	1.4
20	11		体積	立方体の体積を求めることができる。		○				○		○		64.6	1.1	
21	12		体積	直方体を組み合わせた形の体積を求めることができる。		○				○		○		70.0	1.6	
22	13	(1)	図形の角	三角形の3つの角の和を理解し、2つの角の大きさから残りの角の大きさを求めることができる。		○				○			○		80.1	3.0
23		(2)	図形の角	四角形の4つの角の和を理解し、3つの角の大きさから残りの角の大きさを求めることができる。		○				○			○		69.1	3.7
24	14		合同	合同な図形の性質から、対応する角の大きさを求めることができる。		○				○		○		90.8	1.1	
25	15		合同	3辺の長さを使って、合同な三角形を作図することができる。		○				○		○		85.5	3.7	
26	16	(1)	単位量あたりの大きさ、比例	比例の関係を理解し、一方の値に対応する他方の値を求めることができる。			○			○		○			87.4	1.9
27		(2)	単位量あたりの大きさ、比例	伴って変わる2つの量の関係を表した表を見て、比例関係にあるものを選ぶことができる。			○			○		○			84.5	2.5
28	17		平均	値に0があり、答えが小数になる分離量の平均を求めることができる。			○			○		○		84.0	2.8	
29	18		平均	平均から全体の量を推測することができる。			○			○		○		40.2	3.6	
30	19	(1)	単位量あたりの大きさ、比例	にわり小屋のこみぐあい、最小公倍数を適用して比べている。			○			○		○			38.7	19.9
31		(2)	単位量あたりの大きさ、比例	にわり小屋のこみぐあい、単位量あたりの大きさを用いて比べている。			○			○		○			31.0	22.2
32	20	(1)	小数のかけ算・わり算	基準量と比較量から、何倍になっているのかを求めることができる。	○				○			○			49.3	22.3
33		(2)	小数のかけ算・わり算	示された小数の除法の式の意味を理解している。	○				○		○	○			39.0	18.3
34		(3)	小数のかけ算・わり算	小数の除法を用いて、どちらのふくろに入っている硬貨の金額が大きいのかを説明している。	○				○		○	○			11.2	28.0

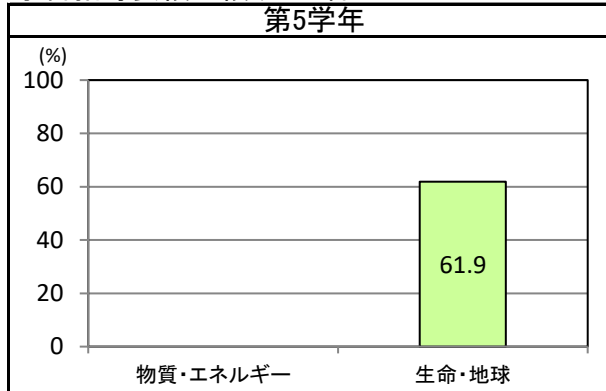
### (3) 小学校理科

【分類・区分別の状況】

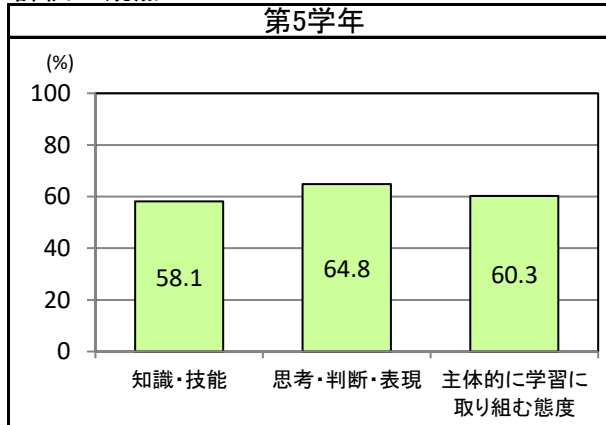
#### 正答率分布の状況



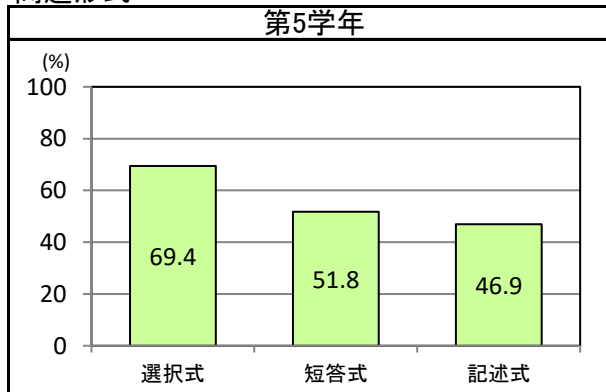
#### 学習指導要領の領域・内容



#### 評価の観点



#### 問題形式





成果・改善が見られる問題

第5学年

■問題番号 **6** (1)

■問題の内容

魚のたんじょう

■出題のねらい

メダカのめすとおすを見分け、たまごをうまない組み合わせを指摘できる。

正答率 95.2%



目的意識を基にした観察の視点をもたせる指導の充実

○分析・考察

メダカの雌雄を見分ける方法を理解することに改善が見られた。このことから、メダカを観察する際に、雌と雄の体のつくりの違いに着目する指導がなされていることがうかがえる。

○学習指導に当たって

観察をする際には、目的を明確にして、どのようなところを観察したらよいか視点をもたせることが重要である。例えば、メダカを飼い、卵を産ませるためには、どんなことが必要か話し合うといった活動のきっかけから、メダカの雌雄を見分けることに目的意識をもち、観察や資料などを通して雌雄を形状の違いで見分けるなどの学習活動を行うことが考えられる。



課題が見られる問題

第5学年

■問題番号 **9** (1) ②、(2)

■問題の内容

流れる水のはたらき

■出題のねらい

(1) ②目的に合った対照実験を行うことができる。

(2) 川の土が削られるのは流れが速いことが関係していることを理解している。

正答率 (1) ② 46.7% (2) 23.2%

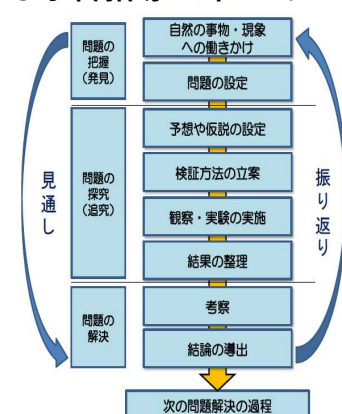


実験の結果を見通し、結果を基に分析をしたりする指導の改善

○分析・考察

本設問では、「大雨が降って水が増えると、(流れる水の働きに) どのような違いがあるか」という疑問を確かめるために行った実験が前提になっている。この実験を行ったらどのような結果が得られるか見通しをもっていないため、複数の実験結果の中からどれを取り上げたらよいかを、約半数の児童が見極めることができていない。また結果を基に分析することもできていない。このことから、問題解決のそれぞれの過程において、仮説を設定する力や検証方法を立案する力、考察する力など育成する資質・能力を明確にした一連の学習活動になっていないことが考えられる。

○学習指導に当たって



特に、**9** (2) では、考察だけを重視するのではなく、問題解決の過程を通して一連の流れで考えさせることが重要である。例えば、「大雨が降って水が増えると、どのような違いがあるか」を確かめるために、変える条件を水の量、変えない条件を傾斜・水の流れの曲がり方にするなど、条件を制御した実験を計画させる。  
次に、実験を行う前に「水をたくさん流した方が、土が多く削られるはずだ」のように、結果に見通しをもたせる。この活動を行うことで、実験では土の削られ方に着目したらよいことが明確になる。  
そして実験の結果が出た後は、水の量と土の削られ方を関係付けながら、予想したことや他者の意見と比べて考察させる。  
このように、前後の過程とつないで、問題解決に見通しをもったり、その過程を振り返ったりすることが大切である。



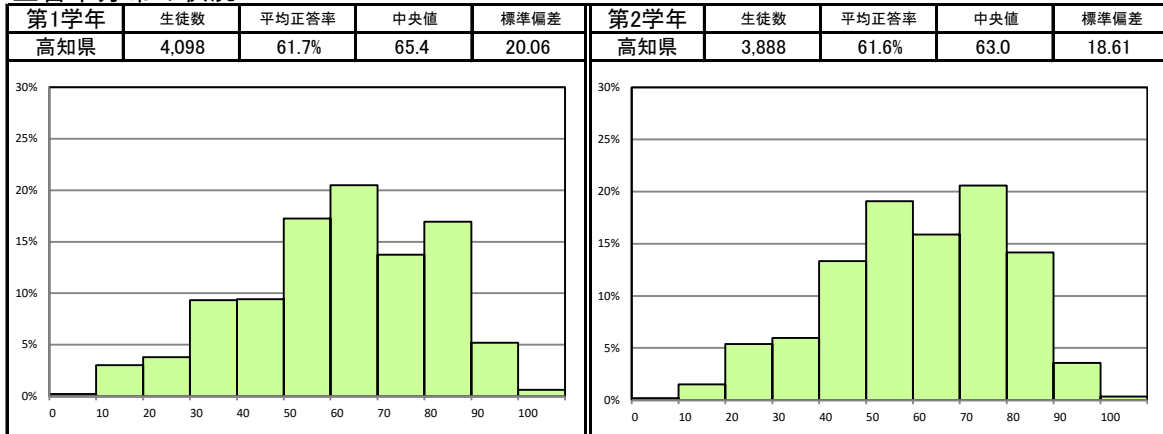
令和3年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [小学校理科5年]

通し 番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連			評価の観点			問題形式			高知県	
					物質・エネルギー	生命・地球	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1		(1) ①	けんび鏡の使い方	顕微鏡のレンズの名称を理解している。		○	○			○			60.6	0.2	
2		(1) ②	けんび鏡の使い方	顕微鏡を直射日光の当たらないところで使う理由を理解している。		○	○			○			90.0	0.1	
3		(1) ③	けんび鏡の使い方	顕微鏡の正しい操作手順を身に付けている。		○	○				○		15.7	0.5	
4		(2)	けんび鏡の使い方	双眼実体顕微鏡について理解している。		○	○			○			32.2	0.4	
5		(1) ①	天気の変化	アメダスについて理解している。		○	○				○		67.8	11.5	
6		(1) ②	天気の変化	雨量情報と雲画像を関連付けることができる。		○		○		○			87.8	0.3	
7		(2)	天気の変化	雲の動きと天気が、西から東へと変化していくことを理解している。		○	○				○		58.9	1.0	
8		(3)	天気の変化	雲画像から翌日の天気を推測できる。		○		○	○	○			47.4	1.1	
9		(1)	天気の変化	台風の被害について、台風の特徴と関連付けることができる。		○		○			○		76.9	4.4	
10		(2)	天気の変化	雲画像の台風の進路の順を推測できる。		○		○			○		74.5	0.4	
11		(3)	天気の変化	台風の発生と上陸について、資料を読み取り、判断できる。		○		○	○	○			92.2	0.4	
12		(1) ①	植物の発芽と成長	対照実験の条件について、誤りを指摘できる。		○		○			○		73.9	3.1	
13		(1) ②	植物の発芽と成長	実験の操作を改善できる。		○		○	○		○		59.5	7.9	
14		(2) ①	植物の発芽と成長	予想が正しかった場合に得られる結果を推測できる。		○		○		○			53.1	0.9	
15		(2) ②	植物の発芽と成長	目的に合った対照実験を計画できる。		○		○		○			73.0	0.8	
16		(1) ①	植物の発芽と成長	ヨウ素液について理解している。		○	○				○		53.0	9.6	
17		(1) ②	植物の発芽と成長	ヨウ素デンプン反応から、デンプンのはたらきを考察できる。		○		○		○			77.9	0.9	
18		(2)	植物の発芽と成長	実験結果から肥料を与えたほうはよく育つことを考察できる。		○		○		○			80.7	1.2	
19		(1)	魚のたんじょう	メダカのめすとおすの見分け、たまごをうまない組み合わせを指摘できる。		○		○		○			95.2	0.6	
20		(2) ①	魚のたんじょう	受精して数時間後のたまごのようすを理解している。		○	○			○			81.8	0.6	
21		(2) ②	魚のたんじょう	メダカが孵化するまでの期間を理解している。		○	○			○			53.0	0.8	
22		(1)	植物の花のつくりと実	人工授粉で行われていることを推測できる。		○	○		○	○			81.9	0.9	
23		(2)	植物の花のつくりと実	単性花と両性花のちがいを記述できる。		○		○	○		○		48.7	9.7	
24		(3)	植物の花のつくりと実	実験の操作の理由を理解している。		○	○			○			78.1	1.2	
25		(1)	流れる水のはたらき	川の上流・中流・下流の河原の石の特徴を理解している。		○	○			○			59.0	1.2	
26		(2)	流れる水のはたらき	流れる水のはたらきによって地形がどのように形成されるか推測できる。		○		○		○			22.1	3.4	
27		(1) ①	流れる水のはたらき	目的に合った対照実験を行うことができる。		○		○		○			59.2	3.6	
28		(1) ②	流れる水のはたらき	目的に合った対照実験を行うことができる。		○		○		○			46.7	4.7	
29		(2)	流れる水のはたらき	川の土が削られるのは流れが速いことが関係していることを理解している。		○	○			○			23.2	11.6	
30		(3)	流れる水のはたらき	蛇行した河川をまっすぐ流れるようにした理由を記述できる。		○		○	○		○		32.4	11.3	

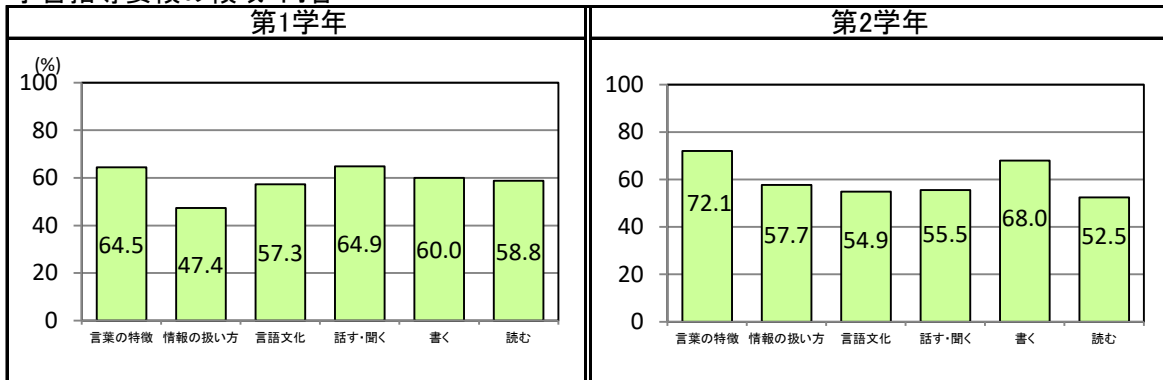
## (4) 中学校国語

### 【分類・区別の状況】

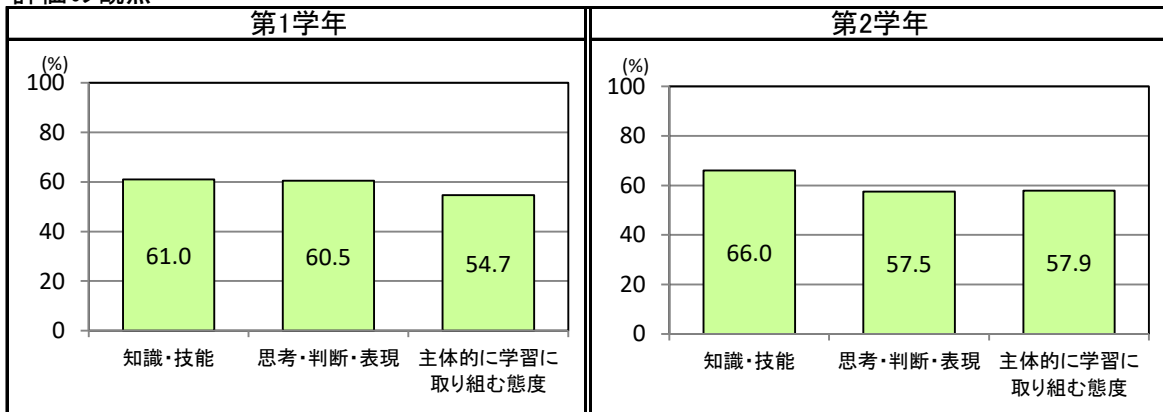
#### 正答率分布の状況



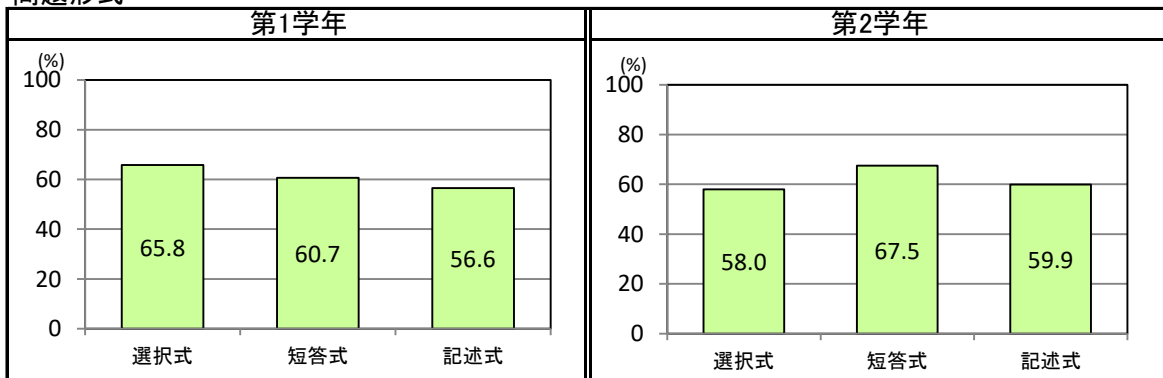
#### 学習指導要領の領域・内容



#### 評価の観点



#### 問題形式





成果・改善が見られる問題

第1学年

正答率 74.8%

■問題番号 ③(4)

■問題の内容

文法・語句に関する事項

■出題のねらい

ことわざについて理解している。

第2学年

正答率 85.0%

■問題番号 ③(4)

■問題の内容

文法・語句に関する事項

■出題のねらい

故事成語について理解している。

ポイント

生活と結び付け、話や文章の中で使うことを通して、語彙を豊かにする

○分析・考察

ことわざや故事成語の意味を踏まえて、正しく語句を使うことに成果が見られる。このことから、小学校の学習を踏まえ、語句の意味を理解させるだけでなく、話や文章の中で日常生活における出来事や体験と結び付けて適切に使う指導が行われていることがうかがえる。

○学習指導に当たって

語句の指導においては、生活の中の様々な場面や状況に応じて、適切に使うことができるようにすることが大切である。例えば、各教科等の学習や読書活動をする中で出合った言葉を取り上げ、それぞれの意味を確認するとともに、具体的な使用例を考えるなどの学習活動が効果的である。また、「話すこと」や「書くこと」の学習と関連させて「○○に贈る言葉」などの単元を設定し、目的や相手・場面に応じたことわざや故事成語の使い方ができているか検討することも考えられる。教師が意識的にことわざや故事成語などを用いて話したり、掲示物や配付物に取り入れたりするなど、言語環境を整えることも考えられる。



課題が見られる問題

第1学年

正答率 41.4%

■問題番号 ①(3)

■問題の内容

話し合いの内容を聞き取る。

■出題のねらい

話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。

第2学年

正答率 29.7%

■問題番号 ⑥(3)

■問題の内容

街歩き探検について話し合う。

■出題のねらい

自分の考えが明確になるように、話の構成を工夫している。

○分析・考察

話し合いの目的を踏まえて、他者の考えに対する意見の理由となる情報を資料から取り出し、指定された字数で、話し言葉を用いて伝えることに課題が見られる。このことから、話の展開を捉えながら聞き、意見と情報を関連付けて話す指導が不足していることが考えられる。

○分析・考察

話し合いの目的を踏まえて具体的な提案を考え、指定された字数で、話し言葉を用いて伝えることに課題が見られる。このことから、情報を関連付けて聞きながら自分の考えをもち、順序立てて話す指導が不足していることが考えられる。

ポイント

目的に沿って、話題や展開を捉えながら話し合う

○学習指導に当たって

話し合い活動においては、まず、話し合いの流れを捉えて自分の考えをもち、それを分かりやすく話すことが必要である。例えば、学校生活や社会生活の中から話題を決め、解決策を考えたり物事を決めたりする「グループディスカッション」などの言語活動が効果的である。その際、話し合いの目的を確認し、これまでの意見を踏まえたり比べたりしながら聞くことや、自分の考えを他者の発言と結び付けてまとめることが重要である。また、発言する際は、自分の立場や考えが分かりやすく伝わるように、自分の考えを支える根拠と理由を明らかにすることや、事柄の順序、言葉遣いなどに留意することが大切である。その手立てとして、モデル動画やICTを活用し、発言内容を考えさせたり、発言内容や話の構成、言葉遣い等の良否、改善点を検討させたりすることが考えられる。

令和3年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [中学校国語1年]

通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連						評価の観点			問題形式			高知県	
					言葉の特徴	情報の扱い方	言語文化	話す・聞く	書く	読む	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	1	(1)	話し合いの内容を聞き取る	必要に応じて記録しながら話の内容を捉えている。				○				○					91.9	0.1
2		(2)	話し合いの内容を聞き取る	自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考えている。				○				○					61.2	0.2
3		(3)	話し合いの内容を聞き取る	話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。				○				○	○			○	41.4	9.6
4	2	(1) ①	漢字を読む	第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	○							○				○	87.3	2.0
5		(1) ②	漢字を読む	第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	○							○				○	98.1	0.2
6		(1) ③	漢字を読む	第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	○							○				○	74.4	2.2
7		(2) ①	漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	○							○				○	58.6	14.3
8		(2) ②	漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	○							○				○	28.0	16.8
9		(2) ③	漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	○							○				○	40.0	29.1
10	3	(1)	文法・語句に関する事項	文節について理解している。	○							○				○	61.1	1.1
11		(2)	文法・語句に関する事項	単語について理解している。	○							○				○	58.0	1.3
12		(3)	文法・語句に関する事項	歴史的仮名遣いについて理解している。			○									○	57.3	6.5
13		(4)	文法・語句に関する事項	ことわざについて理解している。	○								○				○	74.8
14	4	(1)	説明的な文章の内容を読み取る	文章の内容について叙述を基に捉えている。							○	○			○		60.2	0.4
15		(2)	説明的な文章の内容を読み取る	情報と情報との関係について理解し、必要な情報に着目して、内容を解釈している。		○					○	○	○			○	44.0	6.0
16		(3)	説明的な文章の内容を読み取る	文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。								○	○			○	53.7	1.5
17	5	(1)	文学的な文章の内容を読み取る	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。							○	○			○		72.6	0.5
18		(2)	文学的な文章の内容を読み取る	表現の効果について、根拠を明確にして考えている。							○	○			○		51.0	0.9
19		(3)	文学的な文章の内容を読み取る	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。							○	○			○		71.1	0.9
20	6	(1)	報告文を書く	根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。							○	○			○		70.6	1.1
21		(2)	報告文を書く	情報と情報との関係について理解し、文章の構成を考えている。		○					○	○			○		50.9	1.7
22		(3)	報告文を書く	根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。							○	○	○			○	40.4	15.1
23	7		文章を書く	指定された長さで文章を書いている。							○	○	○			○	67.8	14.7
24			文章を書く	2段落構成で文章を書いている。							○	○				○	66.5	14.7
25			文章を書く	自分の考えを明確にして書いている。							○	○	○			○	66.3	14.7
26			文章を書く	自分の考えを明確にして書いている。							○	○	○			○	57.4	14.7

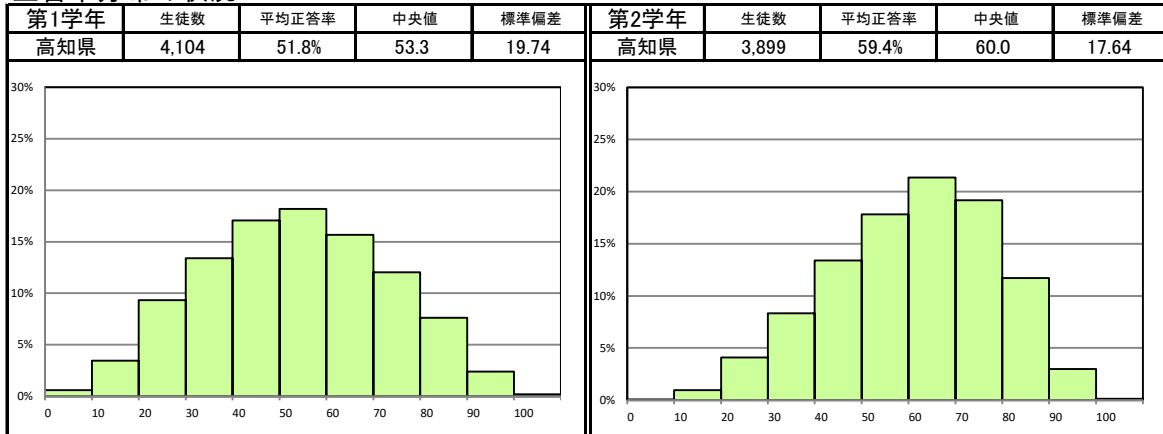
令和3年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [中学校国語2年]

通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連					評価の観点			問題形式			高知県	
					言葉の特徴	情報の扱い方	言語文化	話す・聞く	書く	読む	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)
1		(1)	発表の内容を聞き取る	論理の展開に注意して、話し手の考えを聞いている。				○			○		○			92.1	0.1
2	1	(2)	発表の内容を聞き取る	自分の考えが明確になるように、話の構成を工夫している。				○			○	○			○	57.9	7.7
3		(3)	発表の内容を聞き取る	論理の展開に注意して、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。				○			○		○			37.9	0.2
4		(1) ①	漢字を読む	第2学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	○						○				○	93.8	1.0
5		(1) ②	漢字を読む	第2学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	○						○				○	73.0	3.8
6		(1) ③	漢字を読む	第2学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	○						○				○	96.3	0.3
7	2	(2) ①	漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	○						○				○	65.8	11.9
8		(2) ②	漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	○						○				○	45.7	9.5
9		(2) ③	漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	○						○				○	53.5	15.5
10		(1)	文法・語句に関する事項	文の成分について理解している。	○						○			○		64.1	0.2
11		(2)	文法・語句に関する事項	行書の特徴について理解している。			○				○			○		28.2	0.4
12	3	(3) ①	文法・語句に関する事項	歴史的仮名遣いについて理解している。			○				○			○		56.3	4.3
13		(3) ②	文法・語句に関する事項	現代語訳を手掛かりに古典を読んでいる。			○				○			○		80.3	2.3
14		(4)	文法・語句に関する事項	故事成語について理解している。	○						○			○		85.0	0.1
15		(1)	説明的な文章の内容を読み取る	文章全体と部分との関係に注意しながら内容を捉えている。						○	○			○		59.3	0.3
16	4	(2)	説明的な文章の内容を読み取る	情報と情報との関係について理解し、目的に応じて複数の情報を整理しながら内容を解釈している。		○				○	○	○		○		42.4	8.0
17		(3)	説明的な文章の内容を読み取る	文章の構成や論理の展開について考えている。						○	○			○		54.6	1.4
18		(1)	文学的な文章の内容を読み取る	登場人物の言動の意味について考えて、内容を解釈している。						○	○			○		69.2	0.8
19	5	(2)	文学的な文章の内容を読み取る	文章の表現の効果について考えている。						○	○			○		44.7	1.1
20		(3)	文学的な文章の内容を読み取る	文章を読んで考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを深めている。						○	○			○		44.9	1.2
21		(1)	街歩き探検について話し合う	情報と情報との関係について理解し、集めた材料を整理して、伝え合う内容を検討している。	○			○			○	○		○		73.0	1.3
22	6	(2)	街歩き探検について話し合う	論理の展開に注意して聞いている。				○			○			○		42.5	1.9
23		(3)	街歩き探検について話し合う	自分の考えが明確になるように、話の構成を工夫している。				○			○	○		○		29.7	26.5
24			文章を書く	指定された長さで文章を書いている。					○		○	○		○		69.7	15.3
25	7		文章を書く	2段落構成で文章を書いている。					○		○			○		70.0	15.3
26			文章を書く	読み取った内容を明確にして書いている。					○		○	○		○		63.3	15.3
27			文章を書く	自分の考えを明確にして書いている。					○		○	○		○		68.8	15.3

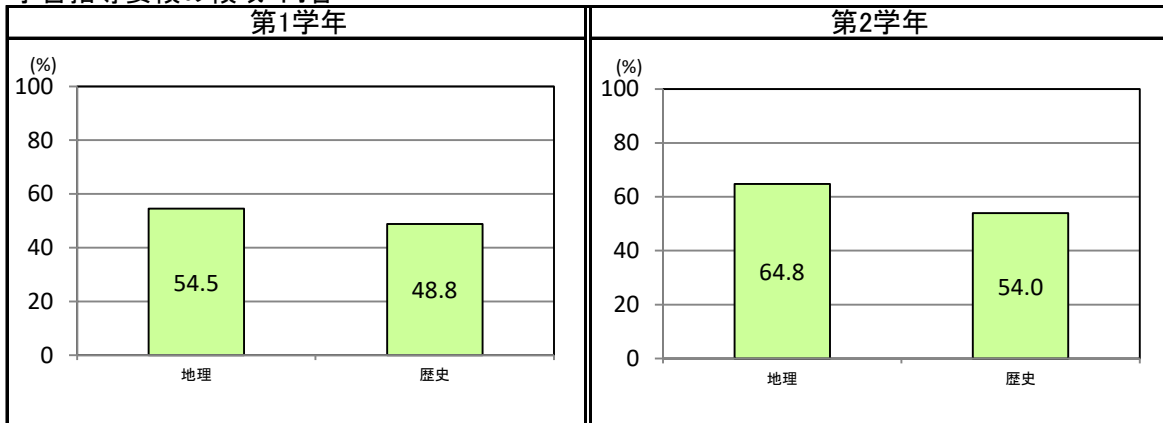
## (5) 中学校社会

【分類・区別の状況】

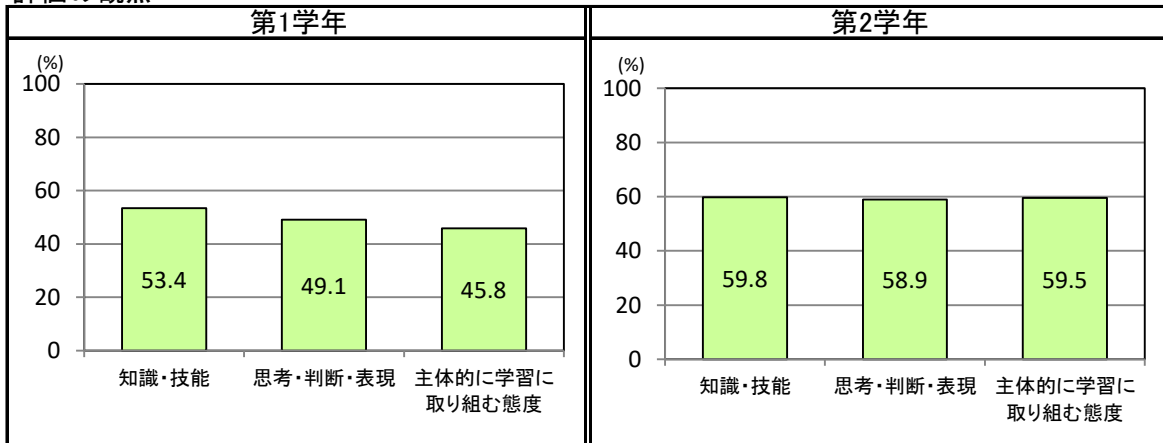
### 正答率分布の状況



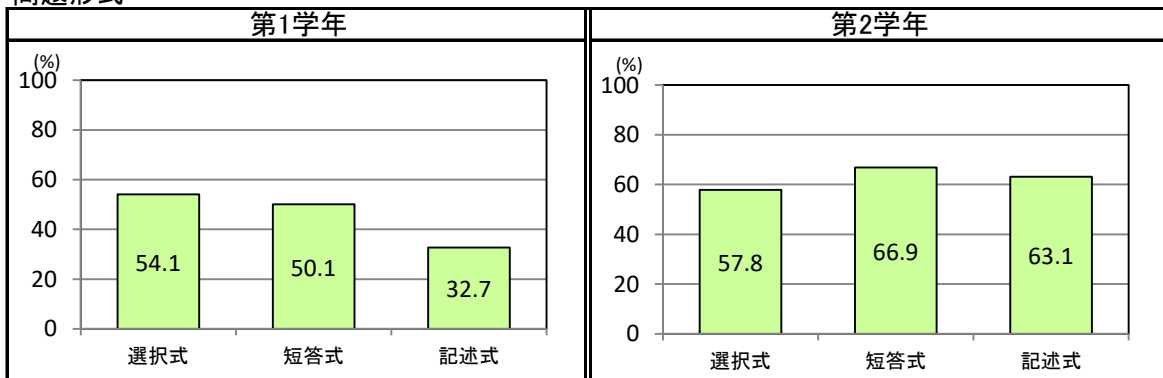
### 学習指導要領の領域・内容



### 評価の観点



### 問題形式





成果・改善が見られる問題

<p>第1学年</p> <p>■問題番号 <b>4</b> (1)</p> <p>■問題の内容 世界の諸地域</p> <p>■出題のねらい アジア州の自然、産業について、複数の資料を読み取っている。</p>	<p>正答率 61.8%</p>	<p>第2学年</p> <p>■問題番号 <b>1</b> (3)</p> <p>■問題の内容 日本の地域的特色と地域区分</p> <p>■出題のねらい 日本の農業の特色について、複数の資料に着目して読み取っている。</p>	<p>正答率 72.2%</p>
---	------------------	--	------------------



**確実に情報を読み取り、考察し、表現する活動の充実へ**

○分析・考察

社会的事象に関する特色（世界の自然や日本の産業の動向等）を理解するにあたり、グラフや地図等の複数の資料から有用な情報を読み取ることに成果が見られる。このことから、課題の追究・解決に必要な資料から、事実を正確に読み取ったり、有用な情報を選んで読み取ったりする場面を設定した授業が行われていることがうかがえる。

○学習指導に当たって

課題解決の学習過程においては、目的に応じた資料を生徒が選択・収集し、複数の資料から情報を読み取る技能を確実に習得させることが重要である。また、複数の情報を比較したり関連付けたりして社会的事象の意味や特色などを考察し、説明・記述する場面の設定も必要である。

例えば、地理的分野では、資料（地図、グラフ等）から位置や分布、数や推移などに着目するように視点を示して、全体の傾向や必要な情報を読み取らせるようにすることが考えられる。また、生徒の習熟を踏まえて着実に身に付くよう、繰り返し指導する機会を設けることが大切である。さらに、収集した情報から分かったことや考えたことを表現させる場面を設定することも効果的である。



課題が見られる問題

<p>第1学年</p> <p>■問題番号 <b>5</b> (4)</p> <p>■問題の内容 古墳時代まで</p> <p>■出題のねらい 銅鐸について理解している。</p>	<p>正答率 31.7%</p>	<p>第2学年</p> <p>■問題番号 <b>4</b> (3)</p> <p>■問題の内容 江戸時代</p> <p>■出題のねらい 蘭学について理解している。</p>	<p>正答率 14.6%</p>
---	------------------	---	------------------



**課題解決的な学習の過程における知識の獲得・活用**

○分析・考察

社会的事象に関する基礎的・基本的な知識の定着と、事象の意味や意義などを捉えた概念化された知識の獲得について、課題が見られる。このことから、社会的事象の意味や特色などを考察する過程で、事象を関連付けて社会の変化の様子を見たり、獲得した知識を活用したりする学習活動が十分でないことが考えられる。

○学習指導に当たって

課題を追究・解決する学習を行う過程では、生徒が資料や既習の知識を活用しつつ、新たな知識を獲得できるようにすることが大切である。そのためには、生徒の疑問や思考に沿って単元（内容や時間のまとまり）を貫く学習課題（問い）を設定し、獲得した知識を繰り返し活用させることが重要である。

例えば、歴史的分野では、時系列、諸事象の推移、事象相互のつながり（背景・原因・結果・影響等）に着目させ、政治の展開、産業の発達、社会の様子、文化の動きを関連付けるなどして、歴史の大きな流れや各時代の特色をつかませるようにすることが考えられる。また、振り返りの場面では、歴史に関わる事象の意味などを思考・判断したことを説明させる場面を設定し、身に付けた知識を活用させる指導が効果的である。

令和3年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率〔中学校社会1年〕

通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関係					評価の観点			問題形式		高知県	
					地理	歴史	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)		
1	1	(1)	世界の姿	本初子午線について理解している。	○		○			○				44.7	0.1	
2		(2)	世界の姿	大陸と海洋の分布についての理解を基に、資料を読み取っている。	○		○		○	○				55.0	0.2	
3		(3)	世界の姿	世界のさまざまな国々の特徴についてまとめた資料に着目して、会話を基に考察している。	○			○	○	○				66.2	0.2	
4		(4)	世界の姿	世界を分ける州についての理解を基に、表を読み取っている。	○		○		○		○			45.6	3.7	
5	2	(1)	日本の姿	日本の領土について理解している。	○		○			○				42.8	0.2	
6		(2)	日本の姿	日本の領域をめぐる問題について理解している。	○		○				○			66.7	8.6	
7		(3)	日本の姿	日本の都道府県と都道府県庁所在地について理解している。	○		○			○				49.0	0.5	
8	3	(1)	世界各地の人々の生活と環境	世界各地の人々の生活について、気候の分布図を基に考察している。	○			○		○				51.6	0.3	
9		(2)	世界各地の人々の生活と環境	世界各地の人々の生活について、住居の特色を理解している。	○		○			○				65.0	0.2	
10		(3)	世界各地の人々の生活と環境	世界各地の人々の生活について、標高の高い土地での暮らしを理解している。	○		○			○				52.3	0.3	
11	4	(1)	世界の諸地域	アジア州の自然、産業について、複数の資料を読み取っている。	○		○			○				61.8	0.5	
12		(2)	世界の諸地域	アジア州の産業について、複数の資料を基に考察している。	○			○		○				77.8	0.5	
13		(3)	世界の諸地域	アジア州の産業、歴史的背景について理解している。	○		○				○			32.0	18.2	
14		(4)	世界の諸地域	アジア州で見られる居住環境の課題について、会話文に着目して適切な資料を考察している。	○			○	○	○				63.9	0.7	
15	5	(1)	古墳時代まで	年代の表し方について理解している。		○	○			○				59.4	0.4	
16		(2)	古墳時代まで	時代区分について考察している。		○		○		○				72.5	0.7	
17		(3)	古墳時代まで	世界の古代文明についての理解を基に、資料を読み取っている。		○	○		○	○				51.3	0.9	
18		(4)	古墳時代まで	銅鐸について理解している。		○	○				○			31.7	18.0	
19		(5)	古墳時代まで	弥生時代の人々の暮らしについて理解している。		○	○			○				73.6	0.5	
20		(6)	古墳時代まで	東アジアとの関わりについて、資料を基に考察している。		○		○		○				45.8	0.8	
21	6	(1)	飛鳥時代～平安時代	聖徳太子の政治について理解している。		○	○			○				60.4	0.8	
22		(2)	飛鳥時代～平安時代	白村江の戦いについて理解している。		○	○			○				53.7	0.8	
23		(3)	飛鳥時代～平安時代	天皇や貴族による政治について、資料を基に系図を読み取っている。		○	○			○				45.0	1.4	
24		(4) ①	飛鳥時代～平安時代	東大寺について理解している。		○	○				○			52.4	9.5	
25		(4) ②	飛鳥時代～平安時代	東アジアの動きが日本の文化に与えた影響について、資料を基に考察し、表現している。		○		○	○			○		13.4	22.0	
26		(5)	飛鳥時代～平安時代	仮名文字について理解している。		○	○				○			72.3	6.3	
27	(6)	飛鳥時代～平安時代	浄土信仰の広まりについて、歴史的な背景に着目して、考察している。		○		○		○				32.4	1.4		
28	7	(1)	世界各地の人々の生活と環境	世界各地の人々の生活と宗教との関わりについて、複数の資料を基に、考察している。	○			○	○	○				45.0	1.7	
29		(2)	世界の諸地域	南アジアの経済の発展について、複数の資料を基に考察し、表現している。	○			○	○			○		51.9	18.9	
30		(3)	古墳時代まで	ローマ帝国の政治制度についての理解を基に、複数の資料に着目して考察している。		○		○	○	○				20.0	2.6	



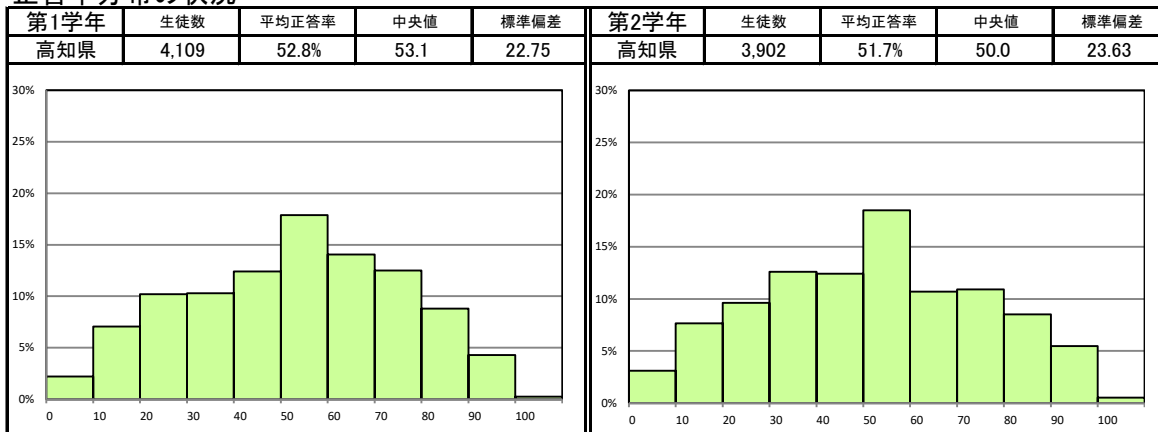
令和3年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率〔中学校社会2年〕

通し 番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連			評価の観点			問題形式			高知県	
					地理	歴史	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1	1	(1)	日本の地域的特色と地域区分	日本の地形の特色について理解している。	○		○			○			34.8	0.1	
2		(2)	日本の地域的特色と地域区分	日本の気候について理解している。	○		○				○		86.5	1.8	
3		(3)	日本の地域的特色と地域区分	日本の農業の特色について、複数の資料に着目して読み取っている。	○		○		○	○			72.2	0.2	
4		(4)	日本の地域的特色と地域区分	日本の過疎地域の特色を考察している。	○			○		○			75.6	0.1	
5		(5)①	日本の地域的特色と地域区分	日本のエネルギー利用の現状について、文に着目して、考察している。	○			○		○			76.9	0.1	
6		(5)②	日本の地域的特色と地域区分	風力発電について理解している。	○		○			○			94.4	0.3	
7		(6)	日本の地域的特色と地域区分	環境問題について、複数の資料に着目して考察し、表現している。	○		○		○			○	55.9	8.7	
8	2	(1)	日本の諸地域	九州、中国・四国地方の気候の特色を生かした農業について理解している。	○		○			○			80.7	0.1	
9		(2)	日本の諸地域	中国・四国、近畿地方の地形の特色を生かした水産業について、考察している。	○			○		○			52.4	0.1	
10		(3)	日本の地域的特色と地域区分	持続可能な社会について理解している。	○		○				○		30.4	15.8	
11		(4)	日本の諸地域	九州、中国・四国、近畿地方の面積や農業、畜産、漁業、工業に関する特色について考察している。	○			○	○	○			42.5	0.2	
12		(5)	日本の諸地域	中国・四国地方の人口の動態について、考察している。	○			○	○	○			81.9	0.3	
13		(6)	日本の諸地域	九州、中国・四国、近畿地方の工業に関する特色について理解している。	○		○			○			50.1	0.3	
14		(7)	日本の諸地域	近畿地方の文化の歴史的背景や開発の歴史に関する特色について、複数の資料に着目して、考察している。	○			○		○			68.1	0.7	
15	3	(1)①	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	ルネサンスと宗教改革について理解している。		○	○			○			58.1	0.2	
16		(1)②	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	キリスト教の伝来について理解している。		○	○				○		80.0	5.4	
17		(2)	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	織田信長の統一事業についての理解を基に、年表を読み取っている。		○	○		○	○			49.7	0.4	
18		(3)	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	豊臣秀吉の統一事業について理解している。		○	○				○		70.9	8.9	
19		(4)	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	豊臣秀吉の対外政策について、複数の資料に着目して読み取っている。		○	○		○	○			59.1	0.3	
20		(5)	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	桃山文化について理解している。		○	○			○			60.6	0.3	
21		(1)	江戸時代	江戸幕府の対外政策について理解している。		○	○			○			84.7	0.3	
22	4	(2)	江戸時代	化政文化について理解している。		○	○			○			19.4	0.5	
23		(3)	江戸時代	蘭学について理解している。		○	○			○			14.6	0.6	
24		(4)	江戸時代	大阪の繁栄について、まとめの文章に着目して、考察している。		○		○		○			39.7	0.7	
25		(5)①	江戸時代	享保の改革について考察している。		○		○		○			35.2	0.7	
26		(5)②	江戸時代	田沼意次の政治について考察している。		○		○		○			61.1	0.6	
27		(6)	江戸時代	江戸時代の農業について理解している。		○	○			○			72.6	0.8	
28		(1)	江戸時代	江戸幕府の大名統制についての理解を基に、資料に着目して読み取っている。		○	○		○	○			57.1	0.7	
29	5	(2)	江戸時代	徳川綱吉と新井白石の政治について、複数の資料に着目して、考察している。		○		○	○	○			46.8	1.2	
30		(3)	日本の諸地域	四国地方の伝統産業が抱える課題について、複数の資料に着目して考察し、表現している。	○			○	○		○		70.2	16.3	

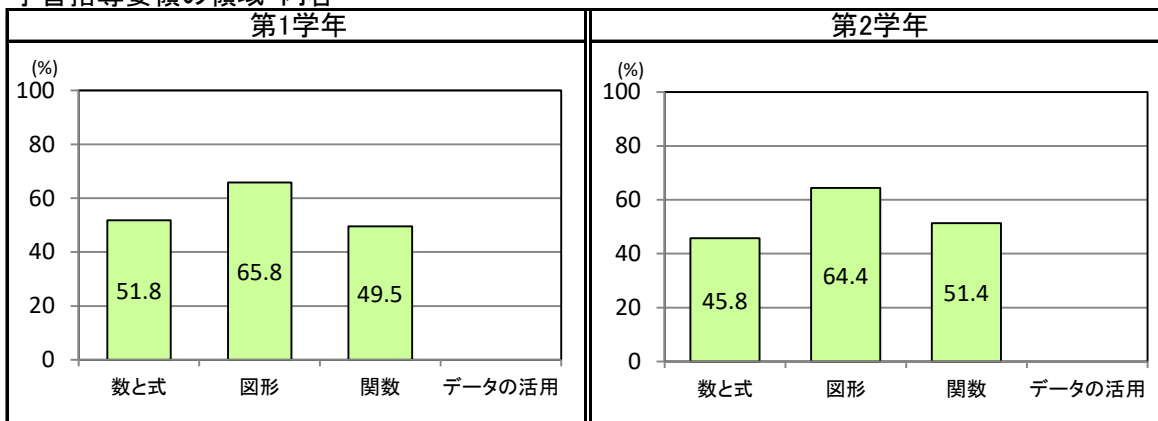
## (6) 中学校数学

【分類・区分別の状況】

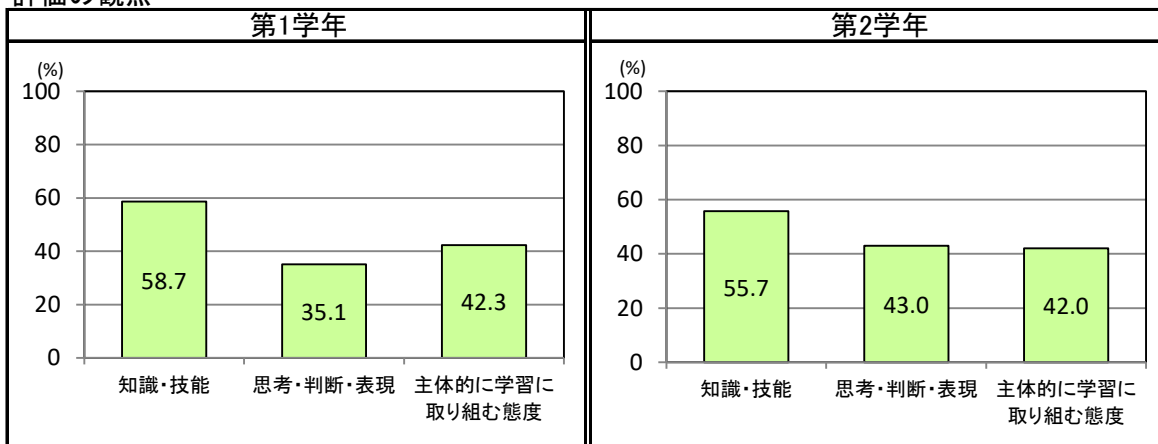
### 正答率分布の状況



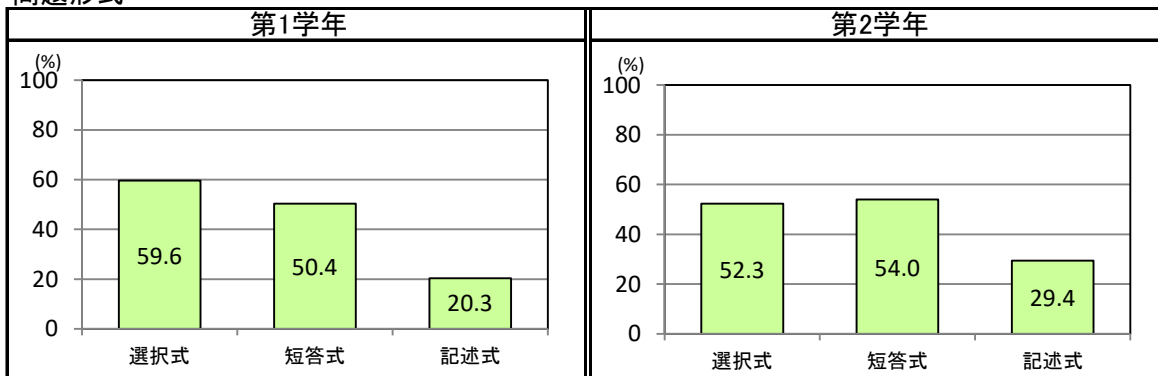
### 学習指導要領の領域・内容



### 評価の観点



### 問題形式





成果・改善が見られる問題

第1学年 ■問題番号 <b>14</b> (2) ■問題の内容 平面図形 ■出題のねらい 平行移動だけで重ね合わせることができる三角形を選ぶことができる。	正答率 79.5%	第2学年 ■問題番号 <b>13</b> (1) ■問題の内容 図形の性質 ■出題のねらい 平行線と同位角、錯角の関係について理解し、角の大きさを求めることができる。	正答率 79.4%
--	-----------	--	-----------



**既習から図形の性質を見だし、関係を捉えさせること**

○分析・考察

図形領域について、平行移動の理解、及び同位角、錯角の関係や三角形の内角と外角の関係を理解し、角の大きさを求めることについて、改善傾向がみられる。小学校からの学びをつなぎながら、観察や操作等の活動を通して、図形の性質を見いだす指導を丁寧に行った成果と捉えている。

○学習指導に当たって

生徒が直感的に捉えた図形間の関係について、合同や対称性の既習から性質を見だし、根拠を基に説明する機会を充実させる必要がある。また、第1学年の時から、図形の内容、図形の性質や関係の理解に基づいて、筋道立てて説明ができるように指導することが大切である。

課題が見られる問題

第1学年 ■問題番号 <b>16</b> (2) ■問題の内容 文字式 ■出題のねらい 文字を使った式に表し、初めに選ぶのがどんな数であっても最後の答えは3になることを数学的に説明することができる。	正答率 11.8%	第2学年 ■問題番号 <b>17</b> (2) ■問題の内容 連立方程式 ■出題のねらい 連立方程式を解く過程を振り返り、事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる。	正答率 22.3%
--	-----------	--	-----------



**解決過程を振り返って、数学的に説明すること**

○分析・考察

文字式や連立方程式について、数学的に表現し説明することに課題が見られる。問題解決の過程や結果を振り返って、事象に即して解釈したり表現したりする活動が十分でないことが考えられる。また、最後の答えは正しい選択ができているが、途中の式を文字を使って正しく表現することができていない記述が多かった。このことから、結果だけでなく、解決過程を表現したり、生徒自身が間違いや記述できていない部分を見直し、改善したりすることが必要である。

○学習指導に当たって

文字式や連立方程式について、事象に即して解釈し、数学的に説明することができるようにするには、具体的な数や言葉で表された式の変数を文字で表したりする過程や、解決したことを振り返って結果に即して解釈し、数学的に表現する活動を積み重ねることが必要である。

例えば、第2学年の**17**(2)のように、解決の手順を比較・関連付けて、「 $13 \times 3$ とはシュートが決まった合計回数に、ラインの外側から決まった3点をかけていること」といった事象に即して式を解釈したり、自分の考えとは異なる他者の求め方を表現したり、説明したりすることが大切である。また、ICT端末を利用して、個々の表現を改め、記述に不十分な点を自覚させ、改善・修正する態度を養うことも効果的である。

令和3年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [中学校数学1年]

通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点			問題形式			高知県	
					数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	1	(1)	正の数・負の数	負の数の大小関係について理解している。	○				○			○			54.6	0.2
2		(2)	正の数・負の数	絶対値について理解している。	○				○			○			87.6	0.2
3	2		正の数・負の数	基準を基に、正負の数を使って最高気温の差を求める式を選ぶことができる。	○					○	○	○			47.0	0.5
4	3		正の数・負の数	素因数分解について理解している。	○				○			○			53.3	0.6
5	4	(1)	正の数・負の数	正負の数の減法ができる。	○				○				○		73.3	1.5
6		(2)	正の数・負の数	正負の数の除法ができる。	○				○				○		78.1	3.7
7		(3)	正の数・負の数	累乗を含む正負の数の乗法ができる。	○				○				○		66.4	1.9
8		(4)	文字式	1次式の減法ができる。	○				○				○		50.4	4.1
9	5	(1)	文字式	文字式の表し方を理解している。	○				○			○			13.4	0.4
10		(2)	文字式	数量の関係を不等式で表すことができる。	○				○		○		○		44.5	6.1
11	6		1次方程式	一次方程式の等式の関係について理解している。	○				○			○			80.5	0.4
12	7	(1)	1次方程式	簡単な1次方程式を解くことができる。	○				○				○		65.4	3.7
13		(2)	1次方程式	分数を含む1次方程式を解くことができる。	○				○				○		23.3	17.3
14	8		1次方程式	比例式を解くことができる。	○				○			○			56.0	1.1
15	9	(1)	1次方程式	具体的な事象における数量の関係を捉え、その関係を比例式で表すことができる。	○					○	○	○			63.1	0.7
16		(2)	1次方程式	文章問題を解くための方程式を立式することができる。	○					○	○		○		19.1	15.5
17	10		比例・反比例	座標平面上の点の座標について理解している。			○		○			○			73.4	0.3
18	11	(1)	比例・反比例	反比例の式から、 $x$ と $y$ の関係を表した表を選ぶことができる。			○		○				○		57.1	0.5
19		(2)	比例・反比例	比例の関係にある1組の $x$ と $y$ の値から、 $y$ を $x$ の式で表すことができる。			○		○				○		42.4	0.4
20		(3)	比例・反比例	反比例の関係にある1組の $x$ と $y$ の値から、 $y$ を $x$ の式で表すことができる。			○		○				○		66.7	1.7
21		(4)	比例・反比例	比例の式から、そのグラフをかきことができる。			○		○		○		○		47.6	5.4
22	12		比例・反比例	具体的な事象について、 $y$ が $x$ に比例していることを基に、その式を立式することができる。			○			○	○		○		37.0	7.3
23	13		比例・反比例	具体的な事象の数量関係が反比例であることを基に、てがつり合うときのおもりをつるす支点からの距離を求めることができる。			○			○	○		○		59.7	7.5
24	14	(1)	平面図形	平行な2直線の関係を表す記号について理解している。		○			○			○			70.0	0.7
25		(2)	平面図形	平行移動だけで重ね合わせることができる三角形を選ぶことができる。		○			○			○			79.5	0.9
26		(3)	平面図形	三角形を回転移動させた角度について理解している。		○			○			○			49.8	1.0
27	15		平面図形	三角形を対称移動させたときの図形を作図することができる。		○			○		○		○		64.2	5.3
28	16	(1)	文字式	指示通りに順を追って計算したときの答えを求めることができる。	○				○				○		44.1	6.2
29		(2)	文字式	文字を使った式に表し、初めに選ぶのがどんな数であっても最後の答えは3になることを数学的に説明することができる。	○					○	○			○	11.8	7.7
30	17	(1)	比例・反比例	与えられた情報から比例の関係であることを読み取り、厚紙の重さを求めることができる。			○		○		○		○		68.3	9.4
31		(2)	比例・反比例	厚紙20枚の厚さから、枚数を数えずに120枚取り出す方法を説明することができる。			○			○	○		○		28.9	19.8
32		(3)	比例・反比例	比例の関係を使って、カードの重さから面積を求めることができる。			○			○	○		○		14.2	25.4

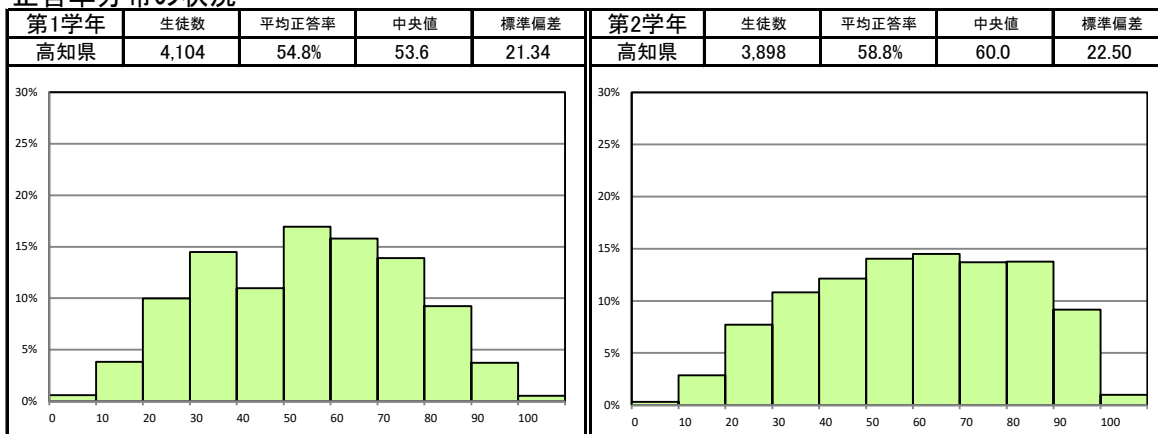
令和3年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [中学校数学2年]

通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点			問題形式			高知県		
					数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1	1	(1)	式の計算	2つの文字を含む式について、数を代入して式の値を求めることができる。	○				○			○			38.5	1.6	
2		(2)	式の計算	等式を変形して、式をある文字について解くことができる。	○				○			○			45.4	0.7	
3	2	(1)	式の計算	多項式の同類項をまとめる計算ができる。	○				○			○			76.9	2.5	
4		(2)	式の計算	単項式の乗法と除法ができる。	○				○			○			58.8	6.6	
5		(3)	式の計算	分数を含む多項式の計算ができる。	○				○			○			31.2	7.3	
6	3	(1)	連立方程式	加減法の原理を理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。	○				○			○			74.7	4.5	
7		(2)	連立方程式	代入法の原理を理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。	○				○			○			55.4	12.0	
8		(3)	連立方程式	$A=B=C$ の形の方程式を解くことができる。	○				○			○			59.1	13.0	
9	4		連立方程式	連立方程式を利用して、文章問題を解くことができる。	○				○	○		○			30.8	25.9	
10	5		連立方程式	与えられた文章問題に対して、適切な連立方程式を立式することができる。	○				○	○		○			17.4	20.8	
11	6	(1)	1次関数	1次関数の関係を表す表から、傾きや切片の値の正負を判断し、正しいグラフを選ぶことができる。			○		○			○			50.9	0.7	
12		(2)	1次関数	1次関数の関係を表す式から、 $x$ と $y$ の値を示した表を選ぶことができる。			○		○			○			53.6	1.6	
13	7		1次関数	1次関数の式から、グラフをかくことができる。			○		○			○			62.5	3.0	
14	8	(1)	1次関数	1次関数の式から、 $x$ の値の増加量から $y$ の増加量を求めることができる。			○		○			○			69.6	0.9	
15		(2)	1次関数	一次関数 $y=ax+b$ の $a$ について、正しく説明しているものを選ぶことができる。			○		○			○			57.3	0.8	
16		(3)	1次関数	2点の座標から、一次関数の式を求めることができる。			○		○			○			51.5	1.9	
17		(4)	1次関数	ある一次関数に平行であることと、1点の座標から一次関数の式を求めることができる。			○		○			○			42.9	1.9	
18	9	(1)	1次関数	$X$ 軸に平行な直線の式を選ぶことができる。			○		○			○			41.0	1.6	
19		(2)	1次関数	2つの一次関数の交点の座標を求めることができる。			○		○			○			37.2	20.3	
20	10		1次関数	水そうに入れる水の深さ(高さ)と時間との関係を式で表すことができる。			○		○	○		○			62.9	9.4	
21	11		1次関数	ある一次関数の $x$ 軸、 $y$ 軸との交点からできる三角形について、面積を求めることができる。			○		○			○			26.2	29.5	
22	12		図形の性質	図から同位角や錯角について正しく説明しているものを選ぶことができる。		○			○			○			60.3	1.2	
23	13	(1)	図形の性質	平行線と同位角、錯角の関係について理解し、角の大きさを求めることができる。		○			○				○			79.4	3.9
24		(2)	図形の性質	多角形の外角の和について理解し、角の大きさを求めることができる。		○			○				○			63.4	6.8
25	14		証明	証明の必要性と意味を理解している。		○			○			○			68.0	1.5	
26	15	(1)	証明	仮定の指す内容について理解している。		○			○			○				47.8	2.1
27		(2)	証明	三角形の合同条件について理解している。		○			○			○				67.1	2.3
28	16	(1)	1次関数	比例の関係を読み取り、ある $y$ の値における $x$ の値を求めることができる。			○		○	○			○			67.7	10.0
29		(2)	1次関数	具体的な事象について、与えられた数値に対応する答えを求めることができる。			○		○	○			○			59.8	11.4
30		(3)	1次関数	料金が安くなる店を判断するために、グラフをどのように読み取ればよいかを説明し、適切な店を判断することができる。			○		○	○			○			36.4	13.2
31	17	(1)	連立方程式	連立方程式を解く過程を、事象に即して解釈することができる。	○				○	○	○	○				38.7	12.4
32		(2)	連立方程式	連立方程式を解く過程を振り返り、事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる。	○				○	○			○				22.3

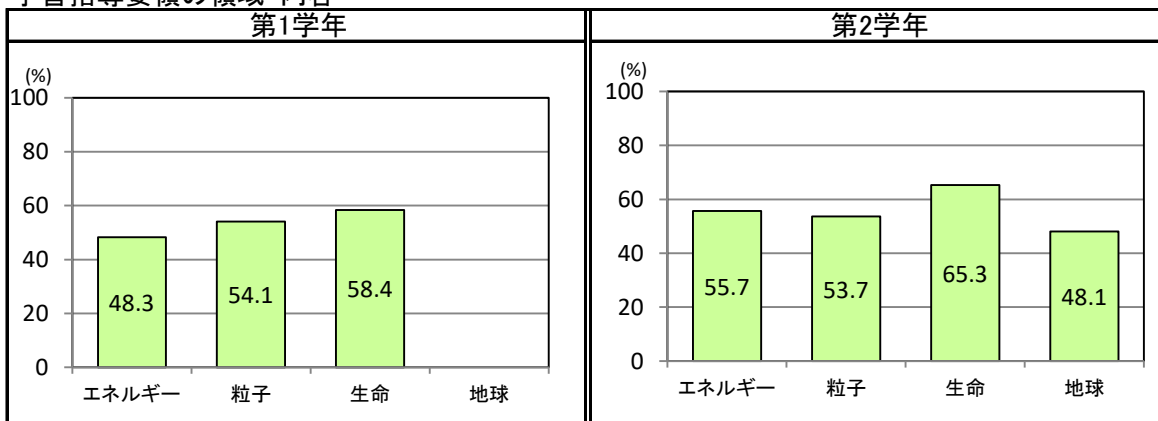
## (7) 中学校理科

【分類・区別の状況】

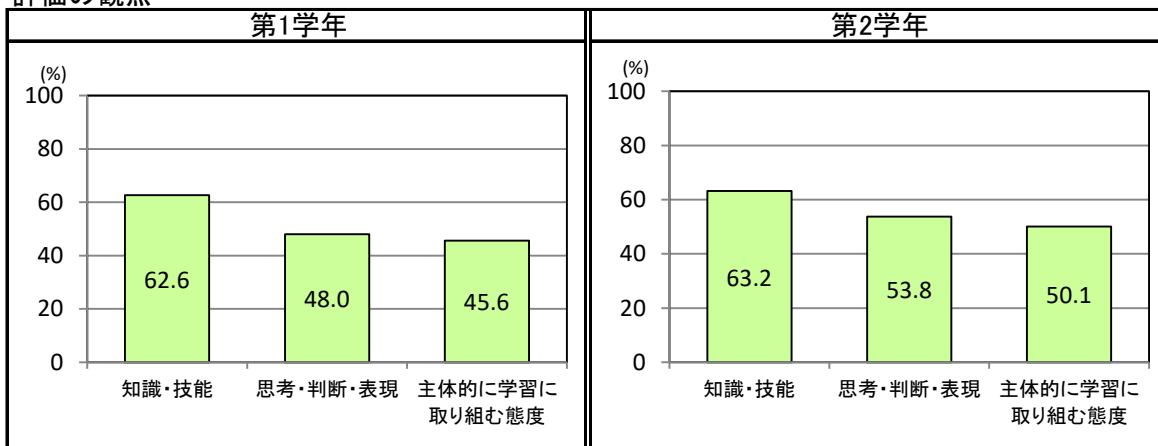
### 正答率分布の状況



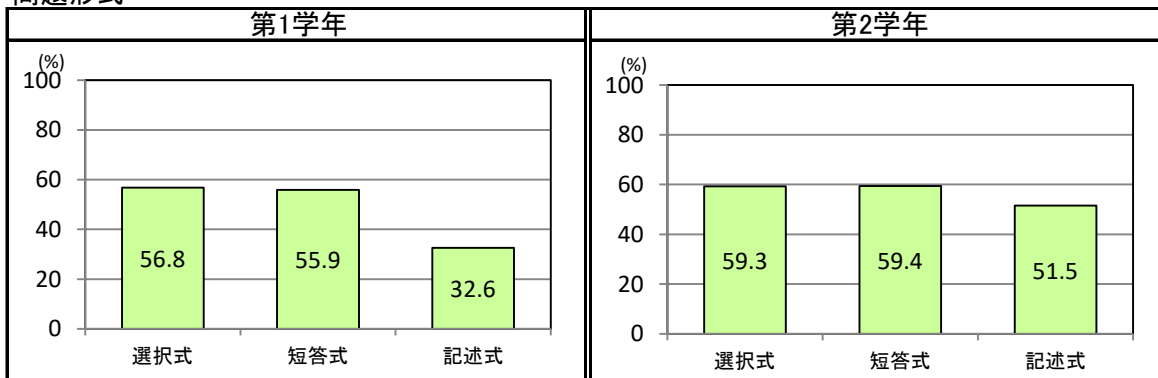
### 学習指導要領の領域・内容



### 評価の観点



### 問題形式





成果・改善が見られる問題

第1学年 ■問題番号 <b>3</b> (3) ■問題の内容 動物の分類 ■出題のねらい ホニュウ類の特徴について理解している。	正答率 89.1%
---	-----------

第2学年 ■問題番号 <b>1</b> (2) ② 他 ■問題の内容 物質の成り立ち ■出題のねらい 1種類の物質が2種類以上の物質に分かれる化学変化を、「分解」ということを理解している。	正答率 93.5%
---	-----------



科学用語の定着に向けた指導の充実

○分析・考察

自然の事物・現象についての基礎的・基本的な知識の定着やその活用で成果が見られる。このことから、扱われている自然の事物・現象とのつながりを考えて、適切な科学用語を表現することの指導がなされていることがうかがえる。

○学習指導に当たって

自然の事物・現象において規則性や関係性を見いだす上で、例えば、分類するための観点や基準、物質の成り立ちに関する基礎的・基本的な知識を身に付けることが重要である。

更に科学用語を定着させるための指導としては、科学的に探究する学習活動の中で、例えば、これまで身に付けた知識を基に予想や仮説を設定したり、解決した課題について既習の知識と比較しながら探究の過程を振り返ったりするなど、基礎的・基本的な知識をアウトプットする機会を増やすことなどが考えられる。



課題が見られる問題

第1学年 ■問題番号 <b>2</b> (3) ■問題の内容 植物の分類 ■出題のねらい ノボロギクが双子葉類であることを確かめる特徴を記述できる。	正答率 39.9%
---	-----------

第2学年 ■問題番号 <b>4</b> (3) ■問題の内容 化学変化と物質の質量 ■出題のねらい 化学変化における質量の保存について調べる実験を改善し、記述できる。	正答率 46.0%
--	-----------



仮説の設定、観察・実験の方法を立案、その検討・改善をする学習指導の充実

○分析・考察

科学的に探究する際に見通しをもつことや、仮説と異なる実験結果が得られた際、改善すべき点を具体的に記述することに課題が見られる。このことから、仮説を設定して、解決の方向に見通しをもって観察・実験の方法を立案する学習活動、また探究の過程を振り返り、必要に応じて検討や改善を行っていく学習活動が十分でないことが考えられる。

○学習指導に当たって

学習活動の中で、観察・実験の方法を立案するような学習場面を設ける際には、観察・実験は、仮説を検証するためのものであることを意識させておくことが大切である。そして、適宜、探究の過程を振り返り、改善策を考えさせることが重要となる。

例えば第2学年の**4**(3)の学習場面では、気体の質量が測定できているかがポイントとなる。仮説を検証するための実験では、質量を測定する際に、反応前後それぞれで、物質全体が測定できる計画になっているかに着目させ、特に、気体の出入りのある化学変化では、関係する気体の質量を測定するために、容器が閉じている必要があることに気付かせたい。立案や検討改善をする際には、まず個人で考えて、その後、グループで見落としている要因がないか、条件が制御できているかといった観点から検討して改善することが大切である。

これらの活動を、単元に適切に位置付けることがポイントとなる。その際、右の表のような点に着目し、改善策を考えさせるための時間を確保することが大切である。

着目点

- \* 生徒から複数の仮説が出そうな内容
- \* 観察・実験の方法を立案させやすい内容
- \* 予想や仮説と異なる観察・実験の結果が得られそうな内容

振り返りのポイント

- ・仮説が妥当であったか（仮説の見直し）
- ・仮説を検証することができる実験方法だったか  
「変化すること」  
「原因として考えられる要因」が妥当であったか（観察・実験方法の改善）
- ・観察・実験操作に誤りはなかったか（再観察・再実験）

令和3年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [中学校理科1年]

通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点			問題形式			高知県	
					エネルギー	粒子	生命	地球	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1		(1)	植物の分類	ルーベの使い方を身に付けている。			○		○		○				75.2	0.2
2	1	(2)	植物の分類	エンドウの花のつくりについて理解している。			○		○		○				69.5	0.1
3		(3)	植物の分類	胚珠が種子になることを理解している。			○		○			○			44.1	6.5
4		(1)	植物の分類	種子をつくらぬ植物のなかまを指摘できる。			○		○		○				60.3	0.2
5	2	(2)	植物の分類	クロマツが裸子植物に分類されることを理解している。			○		○			○			46.2	4.3
6		(3)	植物の分類	ノボロギクが双子葉類であることを確かめる特徴を記述できる。			○		○				○		39.9	10.9
7		(1)	動物の分類	軟体動物について理解している。			○		○				○		53.0	3.3
8	3	(2)	動物の分類	外骨格について理解している。			○		○				○		49.7	9.3
9		(3)	動物の分類	ホニュウ類の特徴について理解している。			○		○			○			89.1	0.3
10		(4)	動物の分類	背骨をもち、卵を産む動物を、さらに2つに分類するための特徴を構想できる。			○		○			○			57.2	0.4
11		(1)	気体の性質	気体を発生させたり、気体の性質を確認したりするときの注意点について理解している。		○			○			○			88.1	0.3
12	4	(2)	気体の性質	火を近づけたときの反応から、水素が入っている試験管を指摘できる。		○			○			○			47.1	0.4
13		(3)	気体の性質	水素と酸素が水に溶けにくい性質を持つことから、水上置換法で集めることを構想できる。		○			○			○			62.2	0.7
14		(1)	水溶液の性質	複数の物質が混ざり合っているものを、「混合物」ということを理解している。		○			○				○		72.2	5.1
15	5	(2)	水溶液の性質	質量パーセント濃度を求める式を理解している。		○			○			○			54.1	0.8
16		(3)	水溶液の性質	溶解度のグラフから、水溶液を冷やしていったとき、結晶が最も多く得られる水溶液を分析できる。		○			○			○			41.9	0.6
17		(4)	水溶液の性質	結晶が出てこなかった水溶液から結晶をとり出す方法を指摘できる。		○			○			○			50.6	0.7
18		(1)	物質の状態変化	ロウが液体から固体に変化したときの密度の変化を指摘できる。		○			○			○			38.5	0.4
19	6	(2)	物質の状態変化	ガスバーナーを点火する手順を身に付けている。		○			○			○			57.9	1.1
20		(3)	物質の状態変化	ロウが液体から固体に変化したときの粒子のようすを指摘できる。		○			○			○			59.1	0.5
21		(4)	物質の状態変化	物質が固体から液体に変化する現象を適用できる。		○			○			○			75.1	0.6
22		(1)	光の性質	入射角と反射角、入射角と屈折角の大きさの関係を指摘できる。	○				○			○			61.1	0.6
23	7	(2)	光の性質	全反射について理解している。	○				○				○		77.0	5.8
24		(3)	光の性質	光が空気からガラスに進むときは、入射角が屈折角より大きくなることを分析できる。	○				○			○			32.8	0.8
25		(4)	光の性質	光の屈折を利用している道具を指摘できる。	○				○	○		○			22.5	0.8
26		(1)	身のまわりの物質とその性質	メダルケースのように、有機物に分類されるものを理解している。		○			○			○			38.0	1.0
27	8	(2)	身のまわりの物質とその性質	密度を求めることで、金メダルは金だけではできていないことを分析し、記述できる。		○			○	○			○		25.3	4.1
28		(3)	身のまわりの物質とその性質	携帯電話などの電子機器に金、銀、銅などが使われている理由を分析できる。		○			○	○			○		47.1	10.6



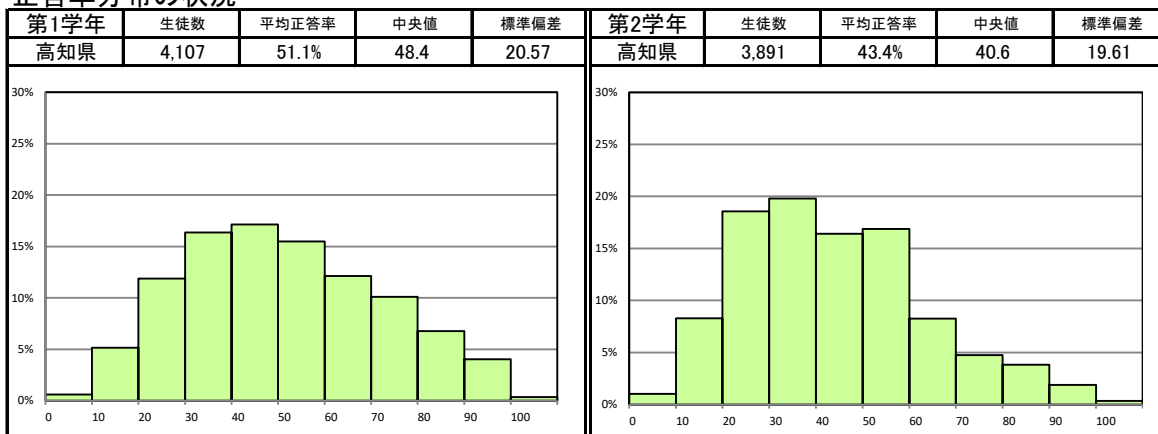
令和3年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [中学校理科2年]

通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点			問題形式			高知県	
					エネルギー	粒子	生命	地球	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	1	1	物質の成り立ち	酸化銀を分解してできた白色の物質が金属の性質を持つかどうかを調べる方法を指摘できる。		○				○	○	○			63.2	0.1
2		(2)①	物質の成り立ち	化学反応式の記述のしかたを身に付けている。		○			○			○			40.0	5.9
3		(2)②	物質の成り立ち	1種類の物質が2種類以上の物質に分かれる化学変化を、「分解」ということを理解している。		○			○			○			93.5	0.3
4		(3)	物質の成り立ち	原子の性質について理解している。		○			○			○			57.0	0.3
5	2	(1)	化学変化	化学かいろは熱を周囲に出しながら起こり、この反応を「発熱反応」ということを理解している。		○			○			○			85.0	0.2
6		(2)	化学変化	化学かいろの発熱反応に鉄粉が関係しているかどうかを調べる実験を構想できる。		○			○			○			48.7	0.2
7	3	(1)	化学変化	酸化銅の還元の実験で、ガスバーナーの火を消してからピンチコックでゴム管を閉じた理由について理解している。		○			○		○	○			34.2	0.1
8		(2)	化学変化	酸化銅の還元の実験で、酸化した物質を指摘できる。		○			○			○			40.6	0.2
9		(3)	化学変化	酸化物から単体をとり出している化学変化を指摘できる。		○			○			○			57.0	0.3
10	4	(1)	化学変化と物質の質量	「NaCl」が塩化ナトリウムを表すことを理解している。		○			○			○			40.1	6.7
11		(2)	化学変化と物質の質量	化学変化の前後で、全体の原子の数は変化していないが、物質をつくる原子の組み合わせが変化していることを指摘できる。		○			○			○			39.4	0.5
12		(3)	化学変化と物質の質量	化学変化における質量の保存について調べる実験を改善し、記述できる。		○			○		○				46.0	20.6
13	5	(1)	生物と細胞	染色液によって染色された部分を、「核」ということを理解している。			○		○			○			72.8	5.2
14		(2)	生物と細胞	細胞の形から、ヒトのほおの細胞を指摘できる。			○		○			○			65.7	0.2
15	6	(1)	動物のからだのつくりとはたらき	感覚器官について理解している。			○		○			○			81.8	4.8
16		(2)	動物のからだのつくりとはたらき	反射が起こったときの信号が伝わる経路について理解している。			○		○			○			59.0	0.2
17		(3)	動物のからだのつくりとはたらき	反射の例について理解している。			○		○			○			43.5	0.4
18	7	(1)	植物のからだのつくりとはたらき	葉の裏側にワセリンをぬった植物がどこで蒸散しているのかを指摘できる。			○		○			○			61.3	0.3
19		(2)①	植物のからだのつくりとはたらき	葉の裏側のほうが表側より気孔の数が多いことを理解している。			○		○			○			63.5	6.4
20		(2)②	植物のからだのつくりとはたらき	実験で用いた枝を、水の減少量が多い順に指摘できる。			○		○			○			73.6	0.3
21	8	(1)	植物のからだのつくりとはたらき	植物は光合成を行うときに、二酸化炭素を使うことを理解している。			○		○			○			80.5	3.8
22		(2)	植物のからだのつくりとはたらき	試験管に集めた酸素を調べる方法を理解している。			○		○			○			79.0	0.3
23		(3)	植物のからだのつくりとはたらき	酸素が発生したのは水草のはたらきであることを調べるための追加の実験を構想できる。			○		○			○			52.6	0.5
24	9	(1)	動物のからだのつくりとはたらき	脈拍が多くなると心臓のはたらきが活発になっていることを分析できる。			○		○			○			58.5	3.4
25		(2)	動物のからだのつくりとはたらき	肺炎になると息苦しくなる理由を分析し、記述できる。			○		○		○		○		57.0	16.8
26		(3)	動物のからだのつくりとはたらき	白血球について理解している。			○		○			○			66.1	0.6
27	10	(1)	気象の観測	気象観測の結果を天気図記号を用いて表すことを身に付けている。			○		○			○			55.4	3.2
28		(2)	気象の観測	高気圧の中心部の空気の動きと、地上付近の風の吹き方について理解している。			○		○			○			40.0	0.9
29	11	(1)	気象の観測	机が物体から受ける圧力の大きさを指摘できる。			○		○			○			37.2	10.4
30		(2)	気象の観測	菓子袋を標高の高い山に持っていきとふくらむ理由を指摘できる。			○		○			○			59.7	0.9
31	12	(1)	電流の性質	電気用図記号を用いて回路を表すことを身に付けている。		○			○			○			68.4	4.0
32		(2)	電流の性質	電流計の読み方を身に付けている。		○			○			○			76.2	0.6
33		(3)	電流の性質	グラフから、抵抗の大きさを指摘できる。		○			○			○			36.1	8.7
34		(4)	電流の性質	回路を組みかえたときに流れる電流の大きさを指摘できる。		○			○			○			42.2	1.0

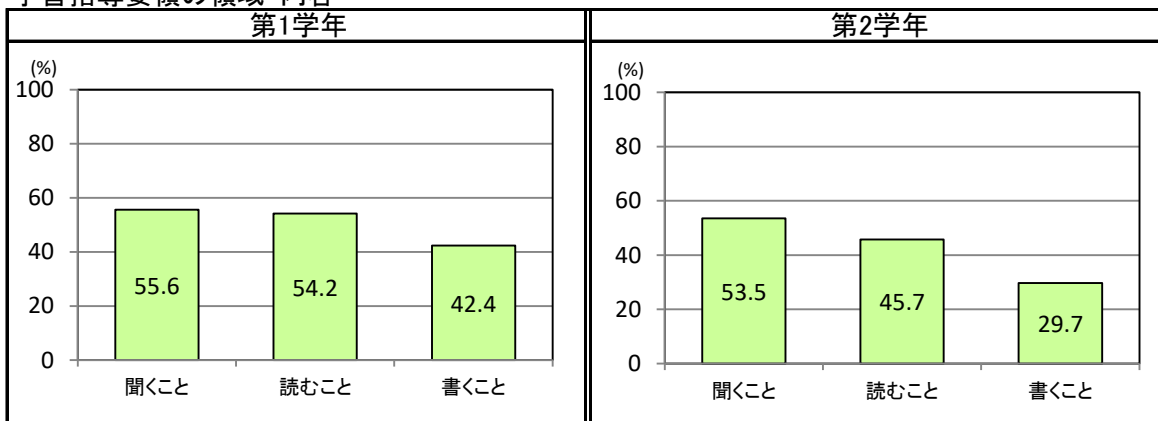
## (8) 中学校外国語（英語）

【分類・区別の状況】

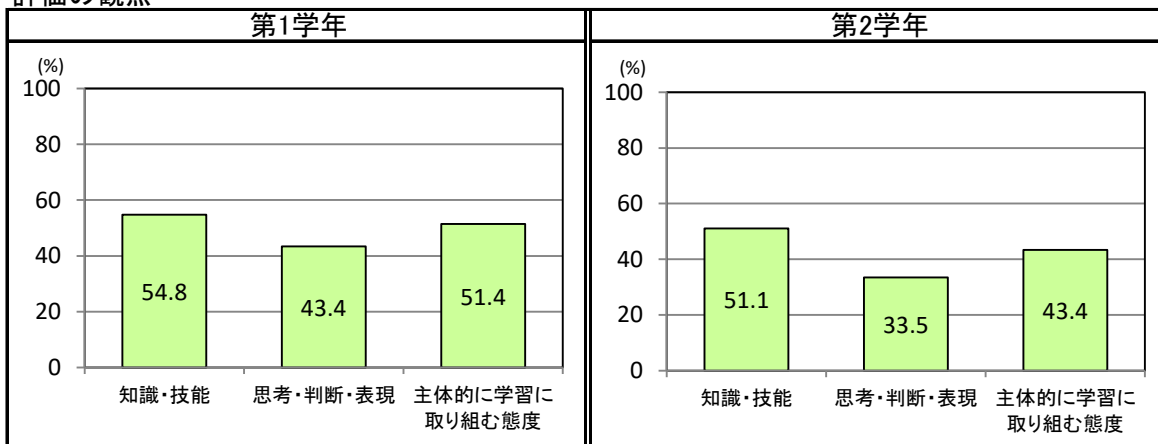
### 正答率分布の状況



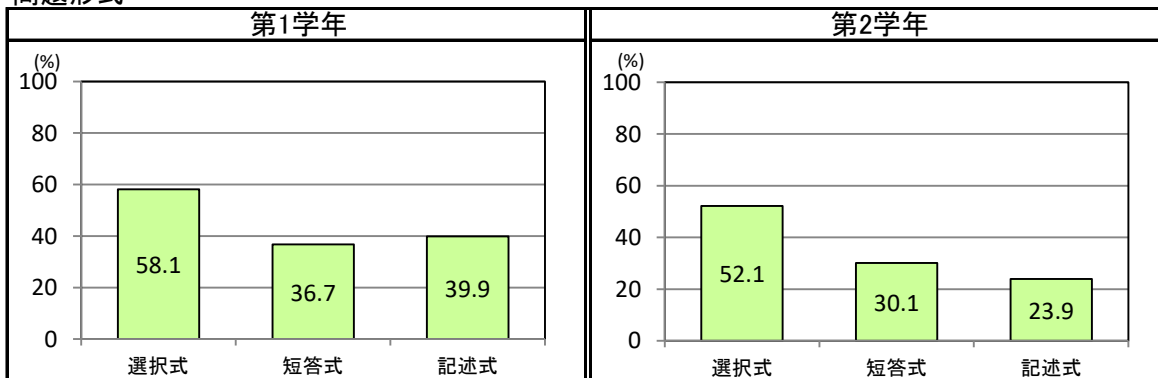
### 学習指導要領の領域・内容



### 評価の観点



### 問題形式





## 成果・改善が見られる問題

<p>第1学年</p> <p>■問題番号 1 (3)</p> <p>■問題の内容 リスニング（内容理解）</p> <p>■出題のねらい 絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。（将来なりたいもの）</p>	<p>正答率 81.0%</p>	<p>第2学年</p> <p>■問題番号 1 (3)</p> <p>■問題の内容 リスニング（内容理解）</p> <p>■出題のねらい 絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。（していることと接続詞）</p>	<p>正答率 92.4%</p>
--	------------------	--	------------------



## 「聞くこと」を通して理解する活動の充実

## ○分析・考察

日常的な話題について、話し手の意向を正確に把握する力に改善が見られる。このことから、小学校からの積み重ねにより一定の定着が図られつつあることがうかがえる。また、教師が授業の最初に最近の出来事について話したり（Small Talk）、ALTによるスピーチを聞かせたりする活動を繰り返し行うことができているものと思われる。

## ○学習指導に当たって

聞き手として必要な情報を聞き取るためには、聞く内容についての状況や目的を明示して、どのような情報が必要かを考えさせた上で、話の全てを聞き取ろうとするのではなく、目的に応じて知りたいことや、欲しい情報を聞き取ることが大切である。

例えば、「ALTにおすすめの場所を紹介する」ためには、あらかじめ「ALTの趣味は何か」「おすすめの場所にいつ行くのか」といった情報を収集する必要があり、聞く目的や必然性が生まれる。そうすると、ALTの話を書く際、多くの情報の中から「趣味」や「季節」に着目して聞くこととする態度につながるものと考えられる。

また、聞き取ったことをメモし、メモをもとに話された内容を説明するなど、技能を統合した活動につなげる指導も大事である。



## 課題が見られる問題

<p>第1学年</p> <p>■問題番号 7 (4)</p> <p>■問題の内容 長文の読み取り</p> <p>■出題のねらい スピーチを読み、その内容をふまえて感想を述べている。</p>	<p>正答率 25.7%</p>	<p>第2学年</p> <p>■問題番号 8 (4)</p> <p>■問題の内容 長文の読み取り</p> <p>■出題のねらい メールを読み、その内容をふまえて、英文を完成させている。</p>	<p>正答率 8.6%</p>
--	------------------	--	-----------------



## 技能を統合した言語活動の充実

## ○分析・考察

コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて英文を読み、必要な情報や要点を捉え、その捉えたことを基に、自分の考えを話したり書いたりして応答することに課題が見られる。このことから、「読むこと」と「書くこと」を分けて指導するのではなく、「読んだことを基にして書く」といった複数の領域を統合した言語活動が十分でないことが考えられる。

## ○学習指導に当たって

生徒が目的に応じて英語を読み取るためには、テキストの種類（物語や説明文等）や目的等に応じて、どのような読み方（必要な情報や文章の概要・要点を読み取る）をすればよいのか、焦点を当てた指導が大切である。

例えば、概要を捉えさせるためには時を表す語句に着目させ、キーワードを表にまとめさせたり、物語を読んで、起きた出来事を順番に整理させたりする活動が考えられる。また要点を捉えさせるためには、結論を表す語や繰り返し用いられている語に着目させて、筆者の主張を数文でまとめたりすることが考えられる。さらに、読んだことを基に、自分の考えを表現するためには、単元を通して「教科書等を読んだ後に、ペアで考えたことや感じたこと、その理由を伝え合う」「伝えた内容や友達の意見を踏まえて自分の意見や感想をまとめる」といった言語活動を繰り返し設定することが大切である。

令和3年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率〔中学校外国語（英語）1年〕

通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連			評価の観点			問題形式			高知県		
					聞くこと	読むこと	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1		(1)	リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(ものと場所)	○			○		○	○				82.5	0.1
2	1	(2)	リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(動作と時刻)	○			○		○	○				85.9	0.2
3		(3)	リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(将来やりたいもの)	○			○		○	○				81.0	0.2
4		(1)	リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き、適切に応答している。(公園でスポーツをすることとたずねられて)	○			○		○	○				16.8	0.3
5	2	(2)	リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き、適切に応答している。(夜にコンピューターを使いたいと言われて)	○			○		○	○				42.3	0.4
6		(3)	リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き、適切に応答している。(週末何をすることとたずねられて)	○			○		○	○				24.2	0.6
7	3		リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題についての英文を聞き、概要を捉えている。	○			○		○	○				96.1	0.2
8	4		リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き、資料を基に英語で答えている。	○				○	○			○		15.9	27.1
9		(1)①	語形・語法の知識・理解	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(一般動詞の疑問文)		○		○			○				76.0	0.2
10		(1)②	語形・語法の知識・理解	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(疑問詞who)		○		○			○				71.0	0.1
11		(1)③	語形・語法の知識・理解	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(canの否定文)		○		○			○				61.3	0.2
12		(1)④	語形・語法の知識・理解	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(代名詞them)		○		○			○				40.0	0.6
13		(2)①	語彙の知識・理解	対話文の情報を読み取り、その内容を理解している。		○		○			○				52.7	0.4
14		(2)②	語彙の知識・理解	英文の情報を読み取り、その内容を理解している。		○		○			○				62.8	0.4
15		(1)	さまざまな英文の読み取り	英文を読み、必要な情報を把握して適切な絵を選んでいる。		○		○			○				61.1	0.3
16		(2)	さまざまな英文の読み取り	メールを読み、要点を理解して相手の意向に適切に応じている。		○		○			○				76.3	0.4
17	6	(3)①	さまざまな英文の読み取り	対話を読み、対話の流れと表から、必要な情報を把握して適切な数字を選んでいる。		○		○			○				38.5	0.9
18		(3)②	さまざまな英文の読み取り	対話を読み、対話の流れと表から、文脈に応じた内容を判断している。		○		○			○				29.7	1.3
19		(1)	長文の読み取り	スピーチを読み、その内容を把握している。		○		○			○				46.3	0.8
20		(2)	長文の読み取り	スピーチを読み、代名詞itが内容を理解している。		○		○			○				54.1	0.9
21		(3)	長文の読み取り	スピーチを読み、その要点を捉えている。		○		○			○				62.8	1.2
22		(4)	長文の読み取り	スピーチを読み、その内容をふまえて感想を述べている。		○		○			○				25.7	19.0
23		(1)	単語の並べかえによる英作文	基本的な文の語順を理解し、正確に書いている。(be動詞の疑問文)			○	○				○			28.0	3.0
24		(2)	単語の並べかえによる英作文	基本的な文の語順を理解し、正確に書いている。(否定の命令文)			○	○				○			23.4	4.7
25		(3)	単語の並べかえによる英作文	基本的な文の語順を理解し、正確に書いている。(一般動詞の否定文)			○	○				○			46.0	3.7
26		(4)	単語の並べかえによる英作文	基本的な文の語順を理解し、正確に書いている。(canの疑問文)			○	○				○			60.3	3.5
27		(1)	場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を正確に書いている。(whoseを使って所有者をたずねる)			○	○	○			○			22.0	22.7
28		(2)	場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を正確に書いている。(how manyを使って数をたずねる)			○	○	○			○			34.3	18.8
29			3文以上の英作文	自分が得意なことについて、まとまった内容で紹介する文を書いている。			○	○	○			○			65.3	12.3
30	10		3文以上の英作文	自分が得意なことについて、まとまった内容で紹介する文を書いている。			○	○	○			○			58.3	12.3
31			3文以上の英作文	自分が得意なことについて、まとまった内容で紹介する文を書いている。			○	○	○			○			43.8	12.3

令和3年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率〔中学校外国語（英語）2年〕

通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連			評価の観点			問題形式			高知県	
					聞くこと	読むこと	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）
1	1	(1)	リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(人の様子)	○			○		○	○			47.8	0.1
2		(2)	リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(動物の数と場所)	○			○		○	○			79.5	0.1
3		(3)	リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(していることと接続詞)	○			○		○	○			92.4	0.1
4	2	(1)	リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き、その意味を理解して適切に応答している。(何をしたかとたずねられて)	○			○		○	○			68.3	0.1
5		(2)	リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き、その意味を理解して適切に応答している。(いつパソコンを使えるかとたずねられて)	○			○		○	○			41.6	0.2
6		(3)	リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き、その意味を理解して適切に応答している。(図書館で本を読むのかとたずねられて)	○			○		○	○			31.1	0.3
7	3		リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題について聞き、要点を捉えている。	○				○	○	○			52.7	0.1
8	4		リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題について聞き、必要な情報を把握している。	○				○	○	○			50.1	0.1
9	5		リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き、その意味を理解して資料を基に英語で答えている。	○				○	○		○	18.1	29.7	
10	6	(1)①	語形・語法の知識・理解	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(現在進行形の疑問文)		○		○			○			40.1	0.1
11		(1)②	語形・語法の知識・理解	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(SVC)		○		○			○			28.5	0.2
12		(1)③	語形・語法の知識・理解	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(接続詞that)		○		○			○			76.4	0.4
13		(1)④	語形・語法の知識・理解	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(疑問詞Whose)		○		○			○			52.3	0.3
14		(2)①	語彙の知識・理解	対話文の情報を正しく読み、その内容を理解している。		○		○			○			68.9	0.3
15		(2)②	語彙の知識・理解	対話文の情報を正しく読み、その内容を理解している。		○		○			○			64.0	0.3
16	7	(1)	さまざまな英文の読み取り	英文を読み、概要を捉えて適切なスライドを選んでいる。		○			○		○			26.7	1.0
17		(2)	さまざまな英文の読み取り	英文を読み、必要な情報を把握して適切な部分を選んでいる。		○			○		○			60.3	0.4
18		(3)①	さまざまな英文の読み取り	対話を読み、対話の流れとポスターから必要な情報を把握して人物の適切な発言を判断している。		○			○		○			42.3	0.4
19	(3)②	さまざまな英文の読み取り	対話を読み、対話の流れとポスターから必要な情報を把握して人物の適切な発言を判断している。		○			○		○			30.9	0.7	
20	8	(1)	長文の読み取り	メールを読み、下線部sheが指す内容を把握している。		○		○			○			49.2	0.7
21		(2)	長文の読み取り	メールを読み、その内容を把握している。		○		○			○			37.1	1.2
22		(3)	長文の読み取り	メールを読み、その要点を把握している。		○		○			○			54.5	1.4
23		(4)	長文の読み取り	メールを読み、その内容をふまえて、英文を完成させている。		○		○			○			8.6	37.9
24	9	(1)	単語の並べかえによる英作文	基本的な文の語順を理解して正確に書いている。(There is[are]～の疑問文)			○	○			○			36.5	4.1
25		(2)	単語の並べかえによる英作文	基本的な文の語順を理解して正確に書いている。(不定詞の副詞的用法)			○	○			○			27.2	3.5
26		(3)	単語の並べかえによる英作文	基本的な文の語順を理解して正確に書いている。(主語になる動名詞)			○	○			○			17.5	4.2
27		(4)	単語の並べかえによる英作文	基本的な文の語順を理解して正確に書いている。(be going to～の疑問文)			○	○			○			60.8	4.2
28	10	(1)	場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を正確に書いている。(what timeを使って時刻をたずねる)			○	○	○			○		16.2	17.9
29		(2)	場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を正確に書いている。(howを使って行き方をたずねる)			○	○	○			○		11.8	29.3
30	11		3文以上の英作文	2年生の思い出について、まとまった内容で説明する文を正確に書いている。			○	○	○			○		20.1	23.6
31			3文以上の英作文	2年生の思い出について、まとまった内容で説明する文を正確に書いている。			○	○	○			○		46.2	23.6
32			3文以上の英作文	2年生の思い出について、まとまった内容で説明する文を正確に書いている。			○	○	○			○		31.1	23.6

## 質問紙調査結果

本調査は、児童生徒の学力調査と合わせて学習状況等を多面的・多角的に分析し、改善策を見出すことで、更なる学力向上につなげることを目的として実施しました。

ここでは、全質問の中から高知県の児童生徒の状況や課題がよく表れている項目を抜粋して掲載しています。

なお、比較対象としている参考値は、令和2年度に同調査を実施した児童生徒の集計値を表記したものです。

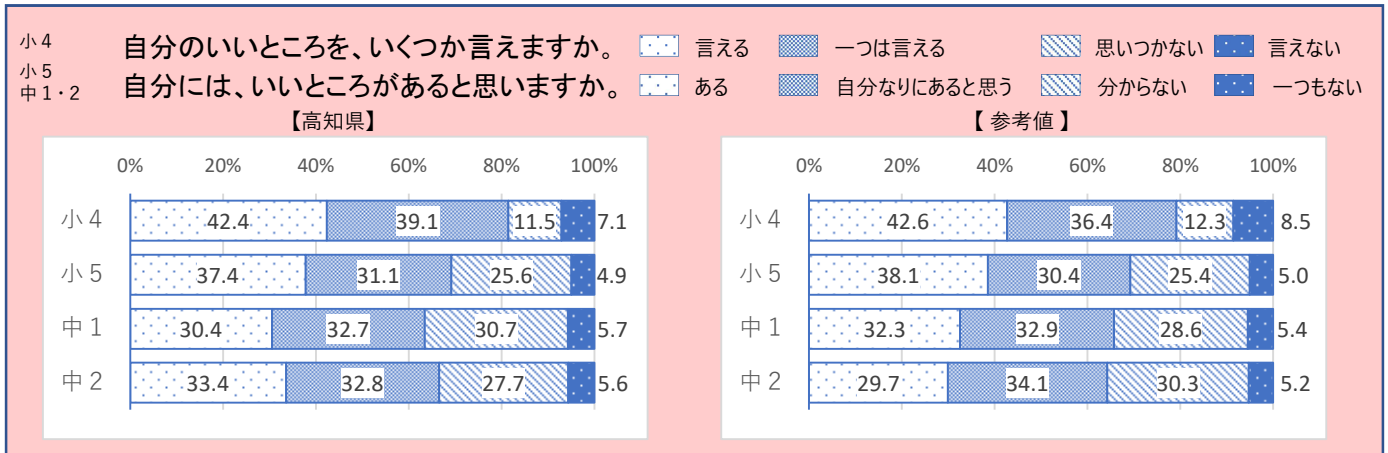
### 【児童生徒質問紙の調査項目】

自己認識に関すること	家族のささえ
	友だちのささえ
	先生のささえ
	成功体験と自信
	充実感と向上心
	感動体験
	他者からの評価
社会性に関すること	規範意識
	思いやり（人間関係構成力）
	発信力
	対話・話し合い
	社会参画
学級環境に関すること	学級の規範意識
	学級の絆
	いじめのサイン
	対人ストレス
生活・学習習慣に関すること	生活習慣
	学習習慣
	学習意欲
	ICT 機器の活用

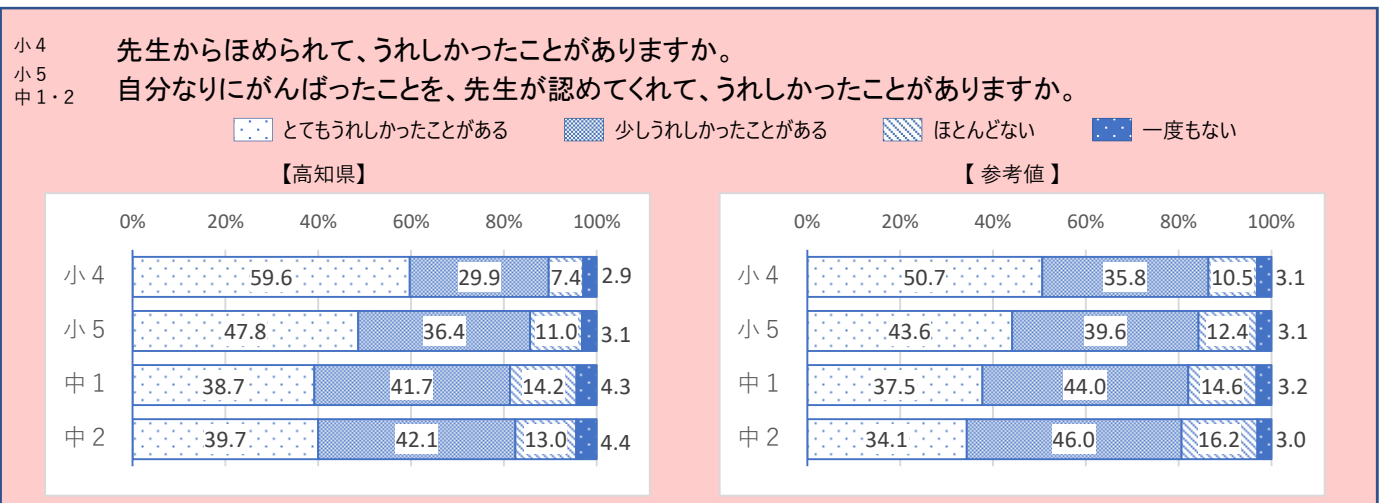
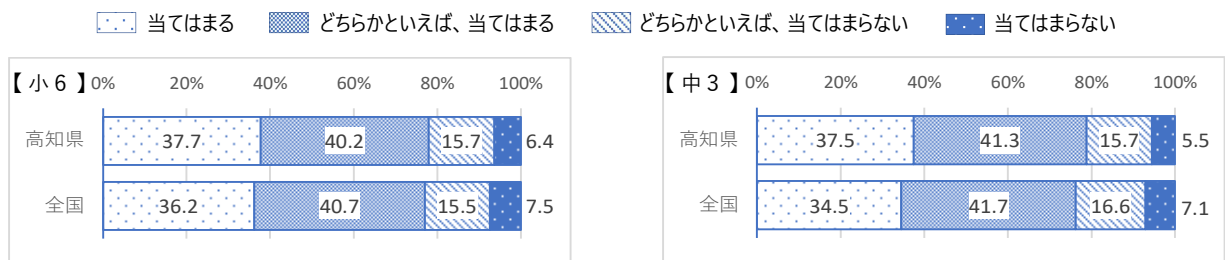


## 1. 自己認識

○成功体験と自信、充実感と向上心、家族や友だち、先生のささえ、進路希望や将来への意識などに関すること



参考：令和3年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査の結果（令和3年5月）



【結果】・肯定的回答をした児童生徒の割合は、参考値より概ね高い。  
・近年、小学生の自己肯定感の低下が懸念されていたが、5月に実施した全国学力・学習状況調査結果よりも肯定的回答の割合が向上しており、改善がみられる。



・コロナ禍の影響により、地域や他学年等との関わりが減ったり、行事等の縮小や変更で活躍の場が少なくなる中、児童生徒の自己肯定感に改善がみられたのは、教員による励ましの効果が大きかったものと考えられる。

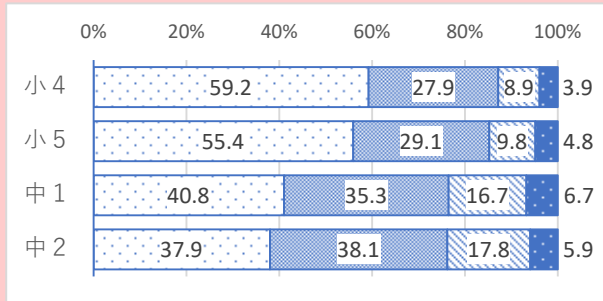


小4 しょうらい、あんな人になりたい、こんなことがしたいという、ゆめやもくひょうがありますか。

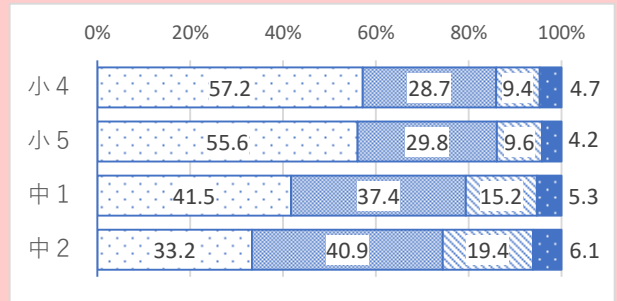
小5 将来、あんな人になりたい、こんなことがしたい、こんな仕事につきたいという、夢や目標がありますか。  
中1.2

はっきりした目標がある    いちおうある    思いつかない    まったくない

【高知県】

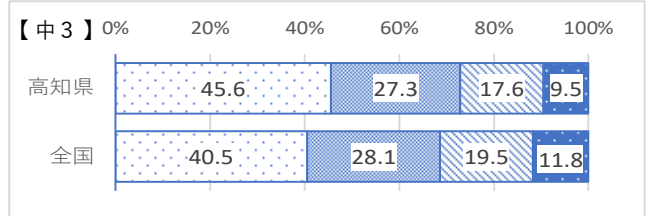
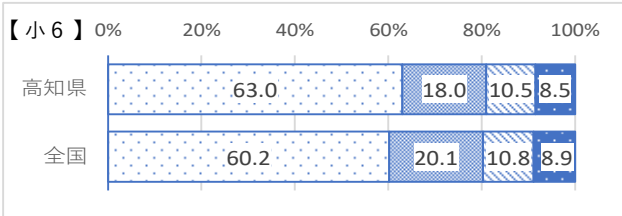


【参考値】



参考：令和3年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査の結果（令和3年5月）

当てはまる    どちらかといえば、当てはまる    どちらかといえば、当てはまらない    当てはまらない



【結果】 ・約8割の児童生徒が、肯定的な回答をしている。

・5月に実施した全国学力・学習状況調査の結果よりも肯定的な回答の割合が向上している。

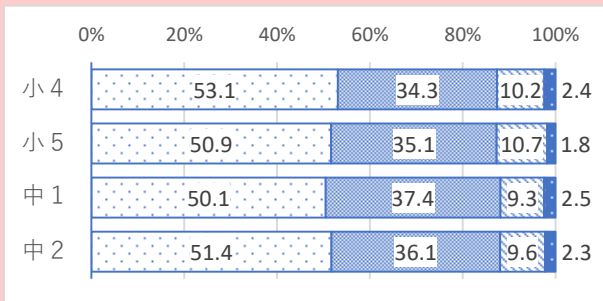


・児童生徒の意識に改善がみられたのは、コロナ禍での様々な制限により見通しの持てない学校生活が続いている中、各校が工夫を凝らし、可能な範囲で職場見学や職場体験活動を実施した成果と捉えられる。

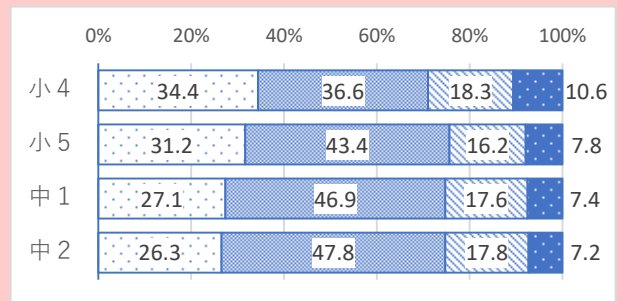
小4.5 つらかったとき、くやしかったとき、友だちからやさしい言葉をかけてもらったことがありますか。  
中1.2

よくある    ときどきある    ほとんどない    一度もない

【高知県】



【参考値】



【結果】 ・肯定的回答をした児童生徒の割合は、参考値よりも高い。



・本県の子どもたちは、相手の気持ちや状況を察しながら、やさしく接することができていることがうかがえる。





## 2. 生活・学習習慣

○基本的な生活習慣、学習習慣、積極的に学ぼうとする姿勢などに関すること

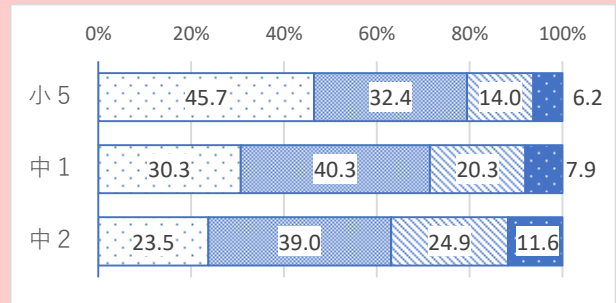
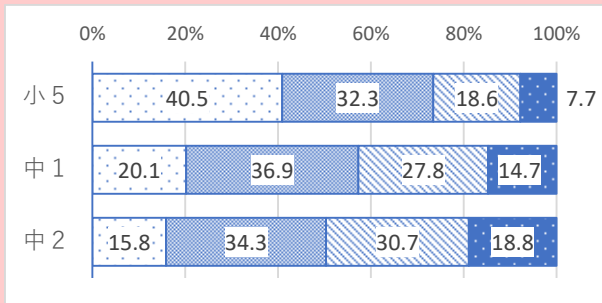


小5 中1・2 テストでまちがえた問題は、あとでやり直していますか。

いつもやり直している だいたい あまり そのままにしてしまう

【高知県】

【参考値】

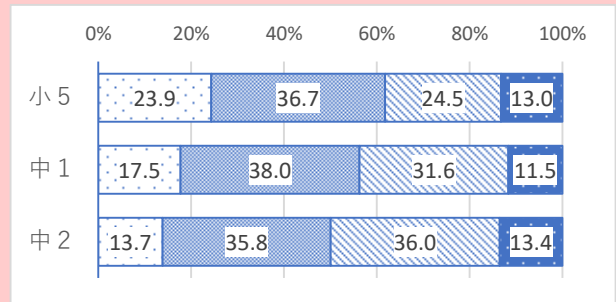
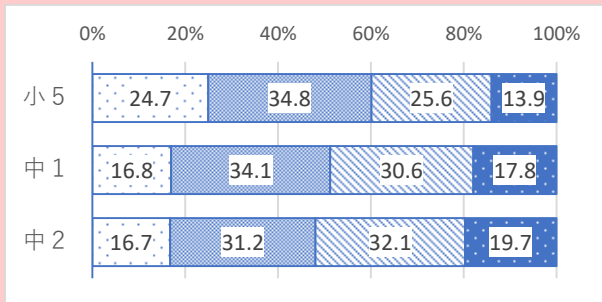


小5 中1・2 勉強するときは、自分で計画を立てていますか。

いつも立てている だいたい立てている あまり立てない まったく立てない

【高知県】

【参考値】



【結果】 ・学年が上がるにつれ、児童生徒の肯定的な回答の割合が低くなっている。

・参考値と比較しても、児童生徒の肯定的な回答の割合は低い。



・小学校段階から、「そのままにしてしまう」と回答した割合が一定数あり、家庭学習においてまちがえた問題をやり直したり、苦手な科目の習熟に取り組んだりする復習の習慣が定着していないことがうかがえる。

・児童生徒が主体的・計画的に家庭学習に取り組めるよう、方法や内容についての指導や支援が十分行われていないことが考えられる。

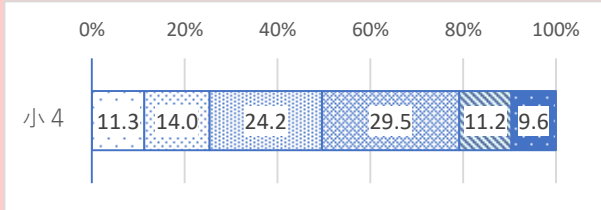


小4・5  
中1・2

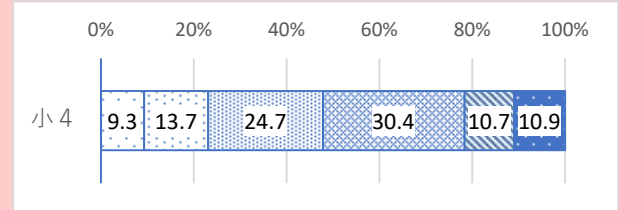
学校の授業以外に、平日(月～金)は、1日どれくらい勉強をしますか。(塾などでの勉強時間をふくみます。)

小4 まったくしない 15分くらい 30分くらい 1時間くらい 2時間くらい 2時間より多い  
 小5 まったくしない 30分くらい 1時間くらい 2時間くらい 3時間くらい 4時間以上  
 中1・2

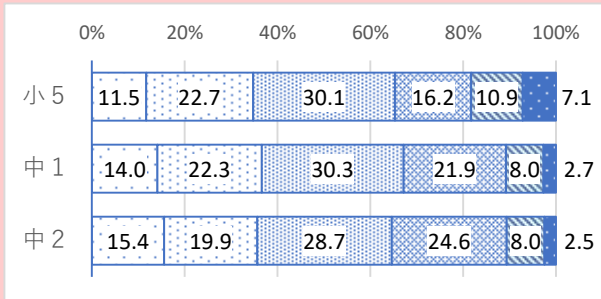
【高知県 小4】



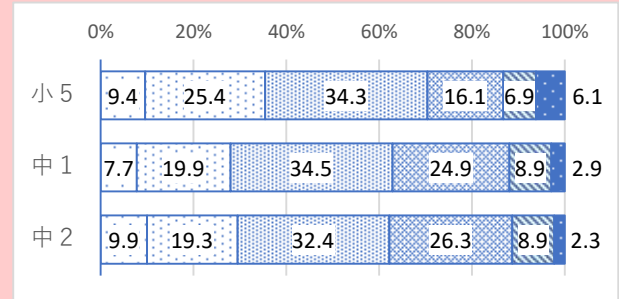
【参考値 小4】



【高知県 小5、中1・2】



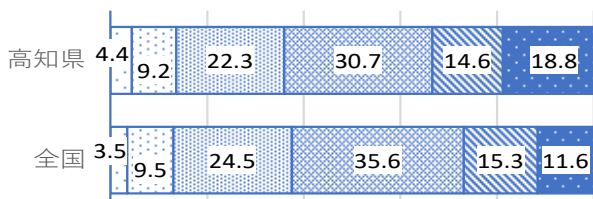
【参考値 小5、中1・2】



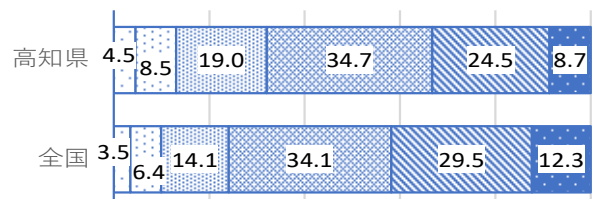
参考：令和3年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査の結果（令和3年5月）

全くしない 10分より少ない 10分以上、30分より少ない 30分以上、1時間より少ない  
 1時間以上、2時間より少ない 2時間以上

【小6】 0% 20% 40% 60% 80% 100%



【中3】 0% 20% 40% 60% 80% 100%



【結果】・勉強を「まったくしない」と回答した児童生徒の割合は、参考値より高い。

・5月に実施した全国学力・学習状況調査の結果よりも、勉強を「まったくしない」と回答した児童生徒の割合が高くなっている。



・学校や家庭に対し、研修会や県の広報誌を通じて授業と家庭学習の連動の必要性を周知してきたが、改善が図られていない。学校では、授業の内容を生かした家庭学習を工夫し、家庭での学びの成果を授業で発揮させることで、児童生徒の学びに向かう力を育てるとともに、家庭では、児童生徒自身が学習計画を立て、学びをマネジメントし、生涯を通じて学び続ける態度を育成する取組に弱さが見られる。



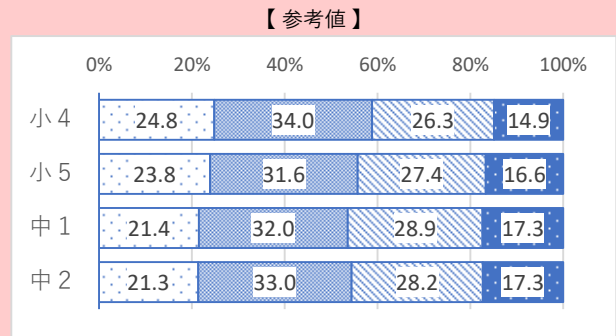
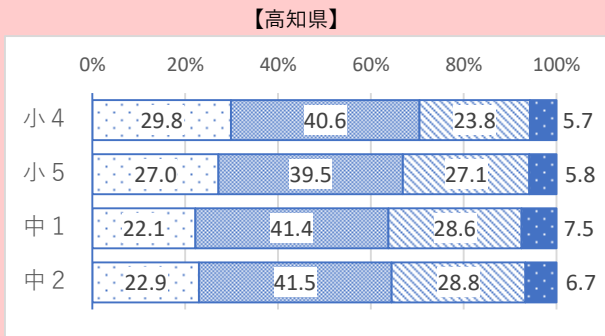
### 3. 社会性

○規範意識、他者への思いやりの心、自分の気持ちや考えを伝える力、話し合い活動の有無、社会参画などに関すること



小4 クラス全体やグループ、友だち同士で話し合いをする時、自分の意見を、活発に発言していますか。  
 小5 クラス全体やグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言していますか。  
 中1・2

いつもしている
  まあまあしている
  あまりしていない
  まったくしていない



【結果】 ・いずれの学年も肯定的回答が参考値よりも10ポイント以上高くなっている。

☞ ・授業の中で、話し合いの場面が設定されており、主体的・対話的な授業が行われていることがうかがえる。

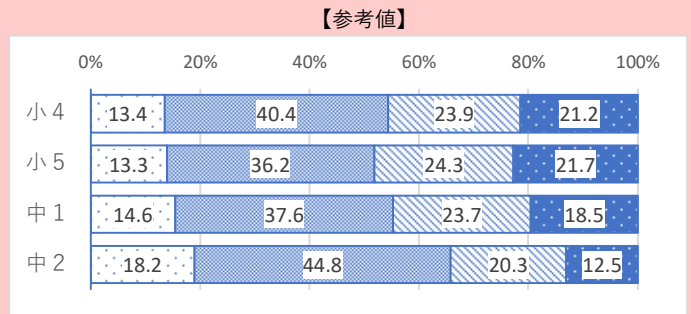
### 4. ICT活用

○コンピュータなどのICT機器の活用状況に関すること



小4・5 あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を他の友だちと意見交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。  
 中1・2

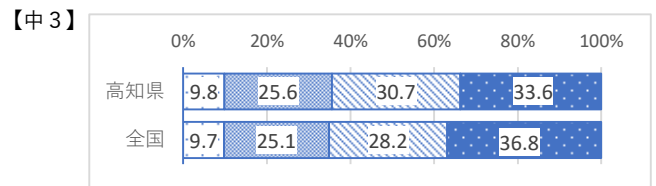
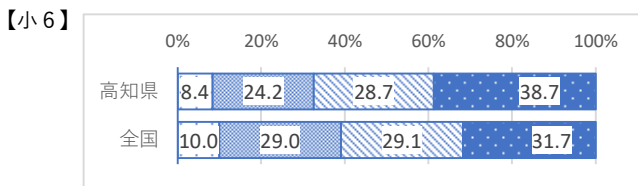
ほぼ毎日
  週1回以上
  月1回以上
  月1回未満



**参考：令和3年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査の結果（令和3年5月）**

あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を他の友だちと意見交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。

ほぼ毎日
  週1回以上
  月1回以上
  月1回未満



【結果】 ・約半数の児童生徒が、「ほぼ毎日」もしくは「週に1回以上」使用している。

・5月に実施した全国学力・学習状況調査の結果よりも20ポイントほど高くなっている。

☞ ・各学校においてICT機器の環境が整ったことから、ICT機器を活用した授業の取組が進んできていると思われる。